

決算説明会資料

株式会社山口フィナンシャルグループ

平成25年度決算の概要と グループ戦略について

平成26年6月2日

目次

1. 業績概要

平成25年度決算の概要(連結・3行単体合算)	1
山口銀行の平成25年度決算概要	2
もみじ銀行の平成25年度決算概要	3
北九州銀行の平成25年度決算概要	4
預貸金の状況	5
期中平均利回りの推移	6
有価証券残高・評価損益の状況	7
役務収益の推移	8
信用コストと不良債権の状況	9
自己資本比率の状況と資本政策	10
経費の推移と見通し	11
平成27年3月期の業績予想	12
配当実績・計画	13

2. グループ戦略

YMFGの歩み ①沿革	14
YMFGの歩み ②営業基盤の拡大	15
YMFGの歩み ③グループ経営基盤の強化	16
グループ戦略「YMFG中期経営計画2013」	17
YMFG中期経営計画2013 計数進捗	18
YMFG中期経営計画2013 施策進捗	19
リレーション強化によるYMFGファンの増加	20
地域と深く関わるネットワークの強化	21
グループ一体化の推進	22
連携による地域活性化	23
事業再生支援への取組	24
アジアの成長の取込	25
株価推移	26

3. 資料編

業績推移(1)FG連結・3行合算	27
業績推移(2)各行単体	28
貸出金推移(末残)	29
預金推移(末残)	30
資金運用勘定・資金調達勘定推移(平残)	31
利回り・利鞘推移	32
債務者区分の遷移状況(H25年9月末⇒H26年3月末)	33
債務者区分の遷移状況(H25年3月末⇒H26年3月末)	34
リスク資本配賦	35
地区別経済概況(山口県)	36
地区別経済概況(広島県)	37
地区別経済概況(北九州)	38
地域経済概況(鉱工業生産・設備投資)	39
地域経済概況(住宅建築・雇用情勢)	40

1.業績概要

平成25年度決算の概要(連結・3行単体合算)

◆ 役務取引等利益の増加、経費減少の一方、前期の貸出債権証券化に伴う譲渡益の影響からコア業務純益は前年同期比32億円減少。

◆ 与信関係費用の減少により当期純利益は前年同期比40億円増加し312億円。経常利益、当期純利益とも過去最高益。

(億円)

	YMFG連結		3行合算				
		前年同期比	前年同期比	山口	もみじ	北九州	
経常収益	1,610	30	1,526	△ 4	18	△ 23	0
コア業務粗利益	1,137	△ 47	1,073	△ 55	△ 1	△ 54	0
資金利益	940	△ 1	949	3	△ 6	11	△ 1
役務取引等利益	173	24	123	18	11	6	1
その他業務利益	0	△ 78	△ 0	△ 79	△ 7	△ 72	1
経費(△) (除く臨時処理分)	850	△ 14	768	△ 18	△ 14	△ 3	△ 0
人件費(△)	—	—	346	△ 12	△ 9	△ 3	0
物件費(△)	—	—	385	△ 3	△ 4	0	0
コア業務純益	286	△ 32	304	△ 36	13	△ 50	0
経常利益	498	59	500	42	40	2	△ 0
当期純利益	312	40	330	25	22	3	△ 0
与信関係費用	△ 69	△ 72	△ 69	△ 71	△ 32	△ 41	1

資金利益の内訳(3行合算)

	26/3期	前年同期比
資金利益	949	3
資金運用収益	1,033	1
貸出金利息	806	△ 37
有価証券利息	214	43
資金調達費用	84	△ 3
預金利息	76	△ 2

前期、貸出債権証券化に伴う譲渡益を計上した特殊要因によるもの。

連単差

3行合算当期純利益	330億円
のれん償却費(もみじ銀行他)	△ 49億円
F G連結調整等	27億円
子銀行連結調整	3億円
YMFG連結純利益	312億円

※単位未満は切捨て表示。3行合算については3行単体の単純合算数値

山口銀行の平成25年度決算概要

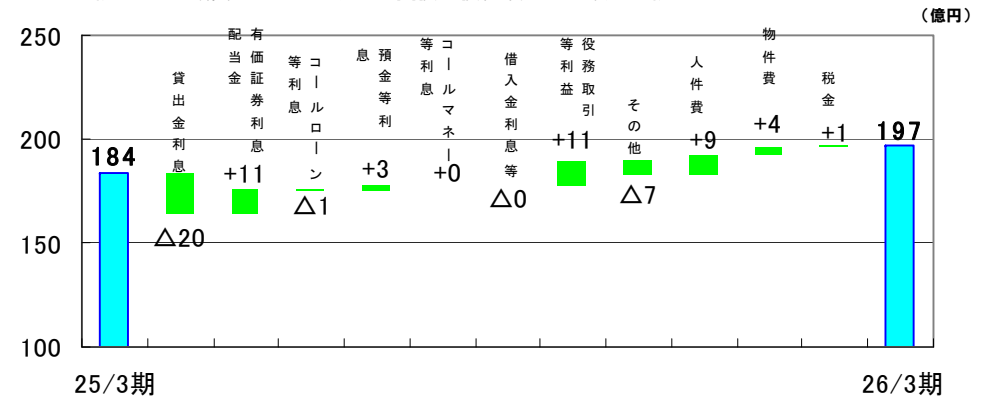
- ◆ 資金利益は減少したものの、役務取引等利益の増加・経費削減によりコア業務純益は前年同期比13億円増加。
- ◆ 加えて与信関係費用が減少(戻入益が増加)し、当期純利益は前年同期比22億円増加。

	(億円)	
	26/3期	前年同期比
経常収益	837	18
業務粗利益	589	△77
資金利益	505	△6
役務取引等利益	76	11
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	7 (11)	△83 (△75)
経費(除く臨時処理分)(△)	380	△14
うち人件費(△)	166	△9
うち物件費(△)	196	△4
一般貸倒引当金繰入額(△)	—	—
業務純益	209	△62
コア業務純益	197	13
臨時損益	97	102
うち不良債権処理額(△)	0	△0
うち株式等関係損益	42	59
うち貸倒引当金戻入益	47	31
経常利益	306	40
特別損益	△5	△5
税引前当期純利益	300	35
当期純利益	189	22
与信関係費用(△)	△47	△32

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

コア業務純益 197億円(前年同期比 +13億円)

※コア業務純益:一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益



有価証券関係損益 54億円(前年同期比 △16億円)

(億円)	26/3期	前年同期比
国債等債券損益	11	△75
売却損益	17	△74
償還損益	△5	△1
株式等損益	42	59
売却損益	42	36
償却額(減損処理)(△)	—	△22

与信関係費用 △47億円(前年同期比 △32億円)

(億円)	26/3期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	△39	△11
個別貸倒引当金繰入額	△8	△20

もみじ銀行の平成25年度決算概要

- ◆資金利益・役務取引等利益の増加及び経費削減に努めたものの、前期の貸出債権証券化に伴う譲渡益の影響から、コア業務純益は**前年同期比50億円減少**。
- ◆与信関係費用の減少、有価証券関係損益の改善により、当期純利益は**前年同期比3億円増加**。

(億円)		
	26/3期	前年同期比
経常収益	561	△ 23
業務粗利益	415	△ 93
資金利益	346	11
役務取引等利益	38	6
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	30 (28)	△ 112 (△ 39)
経費(除く臨時処理分)(△)	298	△ 3
うち人件費(△)	138	△ 3
うち物件費(△)	145	0
一般貸倒引当金繰入額(△)	—	20
業務純益	117	△ 110
コア業務純益	88	△ 50
臨時損益	55	112
うち不良債権処理額(△)	3	△ 35
うち株式等関係損益	34	47
うち貸倒引当金戻入益	25	25
経常利益	173	2
特別損益	△ 1	△ 0
税引前当期純利益	171	1
当期純利益	129	3
与信関係費用(△)	△ 22	△ 41

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

コア業務純益 88億円(前年同期比 △50億円)

※コア業務純益：一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益



有価証券関係損益 62億円(前年同期比 +8億円)

(億円)	26/3期	前年同期比
国債等債券損益	28	△39
売却損益	33	△37
償還損益	△4	△1
株式等損益	34	47
売却損益	35	38
償却額(減損処理)(△)	1	△9

与信関係費用 △22億円(前年同期比 △41億円)

(億円)	26/3期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	△23	△3
個別貸倒引当金繰入額	△1	△37

北九州銀行の平成25年度決算概要

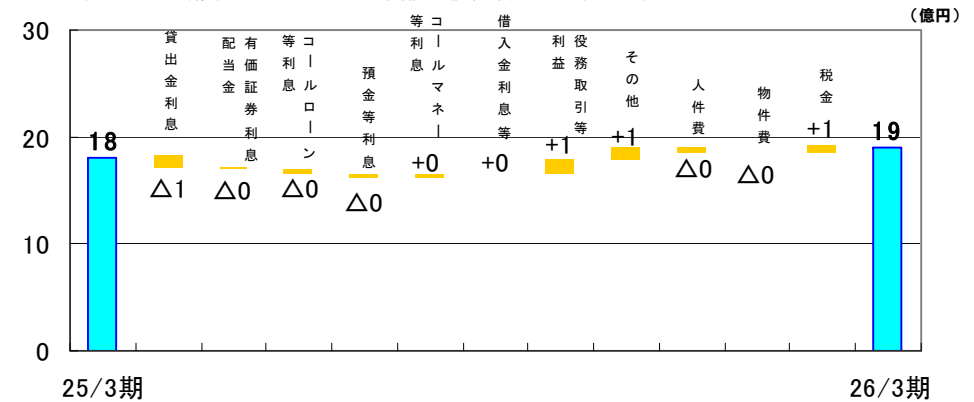
- ◆ 資金利益は微減するも、役務取引等利益の増加・営業経費削減によりコア業務純益は前年同期比0.8億円増加。
- ◆ 一方で、与信関係費用が増加したため、当期純利益は前年同期比0.4億円減少。

(億円)		
	26/3期	前年同期比
経常収益	128	0
業務粗利益	108	0
資金利益	97	△1
役務取引等利益	8	1
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	2 (△0)	1 (0)
経費(除く臨時処理分)(△)	89	△0
うち人件費(△)	41	0
うち物件費(△)	43	0
一般貸倒引当金繰入額(△)	-	-
業務純益	19	0
コア業務純益	19	0
臨時損益	1	△0
うち不良債権処理額(△)	0	0
うち株式等関係損益	0	0
うち貸倒引当金戻入益	0	△1
経常利益	20	△0
特別損益	0	1
税引前当期純利益	20	1
当期純利益	11	△0
与信関係費用(△)	△0	1

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

コア業務純益 19億円(前年同期比 +0億円)

※コア業務純益：一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益



有価証券関係損益 0億円(前年同期比 +0億円)

(億円)	26/3期	前年同期比
国債等債券損益	△0	0
売却損益	△0	0
償還損益	-	-
株式等損益	0	0
売却損益	0	0
償却額(減損処理)(△)	0	0

与信関係費用 △0億円(前年同期比 +1億円)

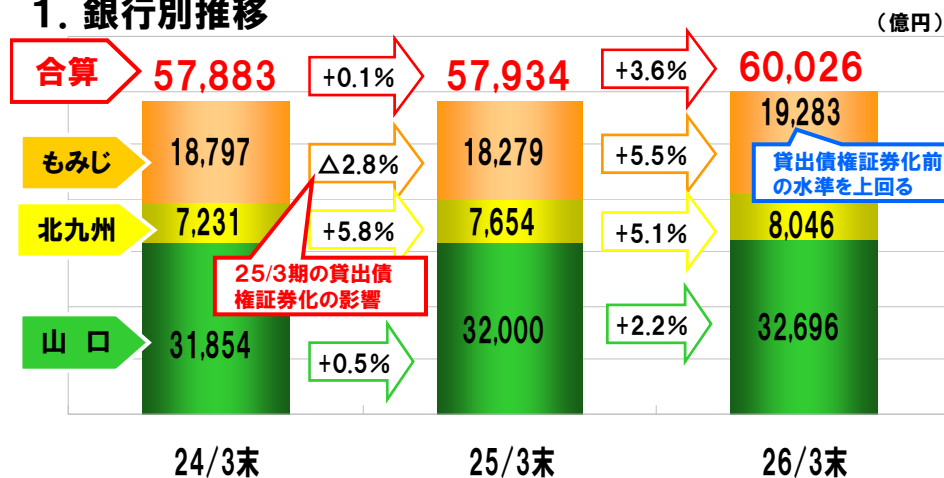
(億円)	26/3期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	△4	13
個別貸倒引当金繰入額	3	△12

預貸金の状況

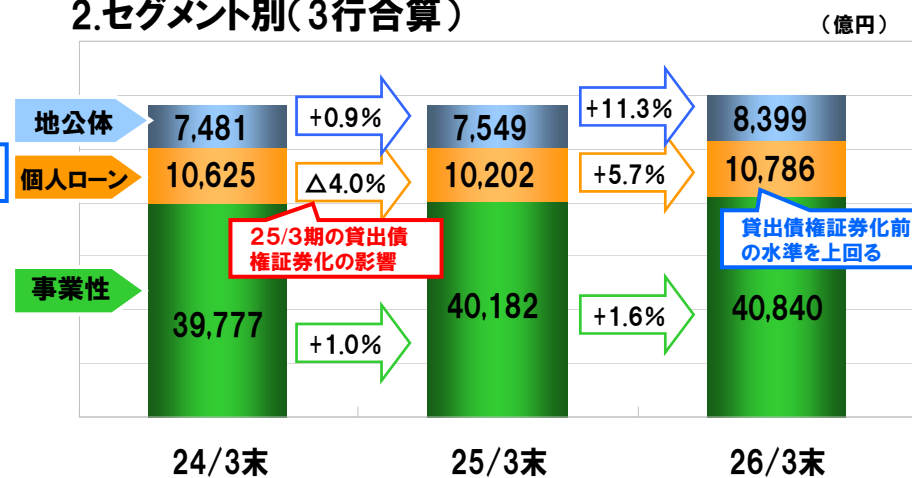
◆貸出金：個人ローンなどの良質な貸出資産を積上げた結果、**前年同期比2,092億円増加し、総貸出金残高6兆円台へ。**
 ◆預金：オーバーローンを解消した北九州銀行をはじめとして、**総預金残高は前年同期比3,440億円増加。**

貸出金

1. 銀行別推移

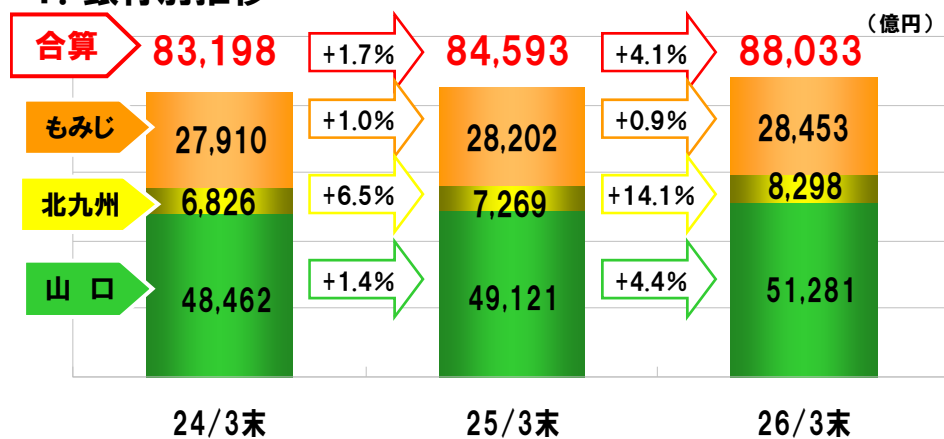


2. セグメント別(3行合算)

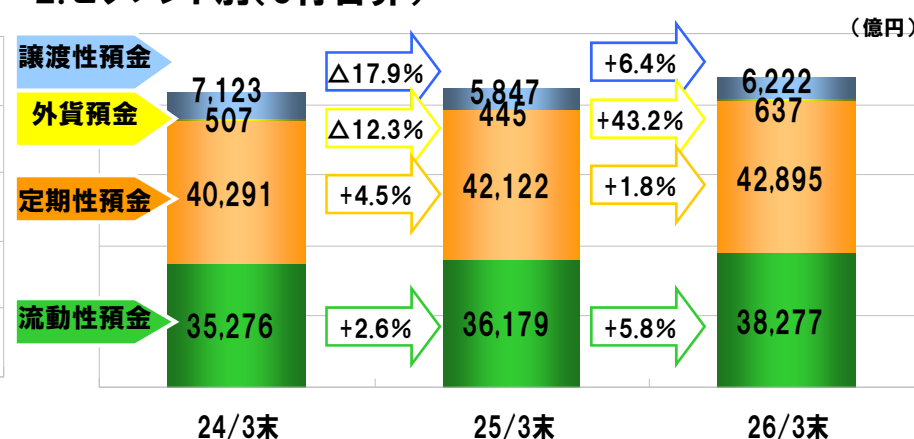


預金

1. 銀行別推移



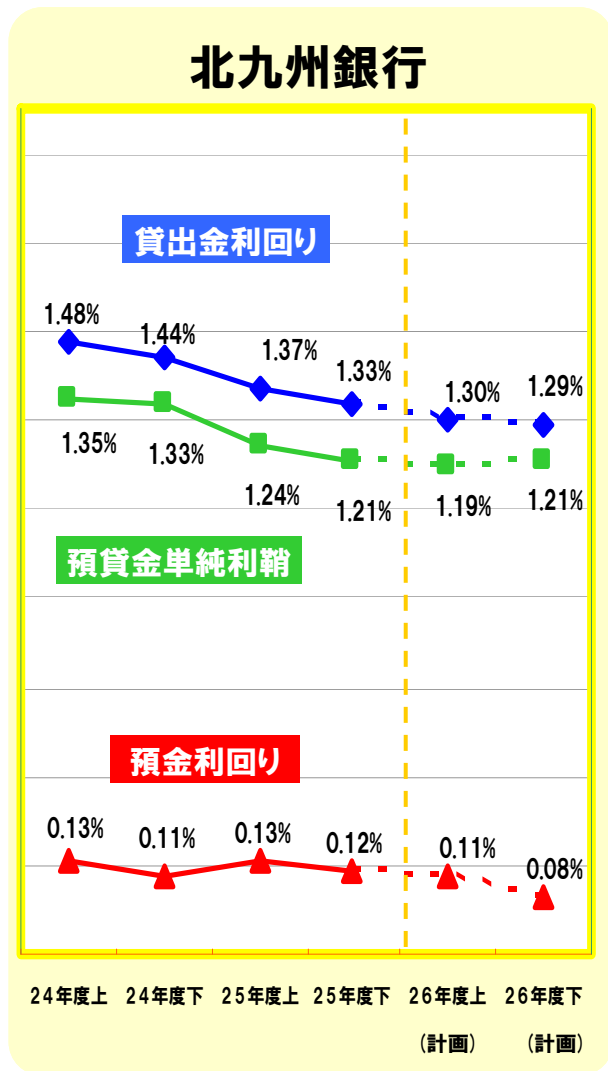
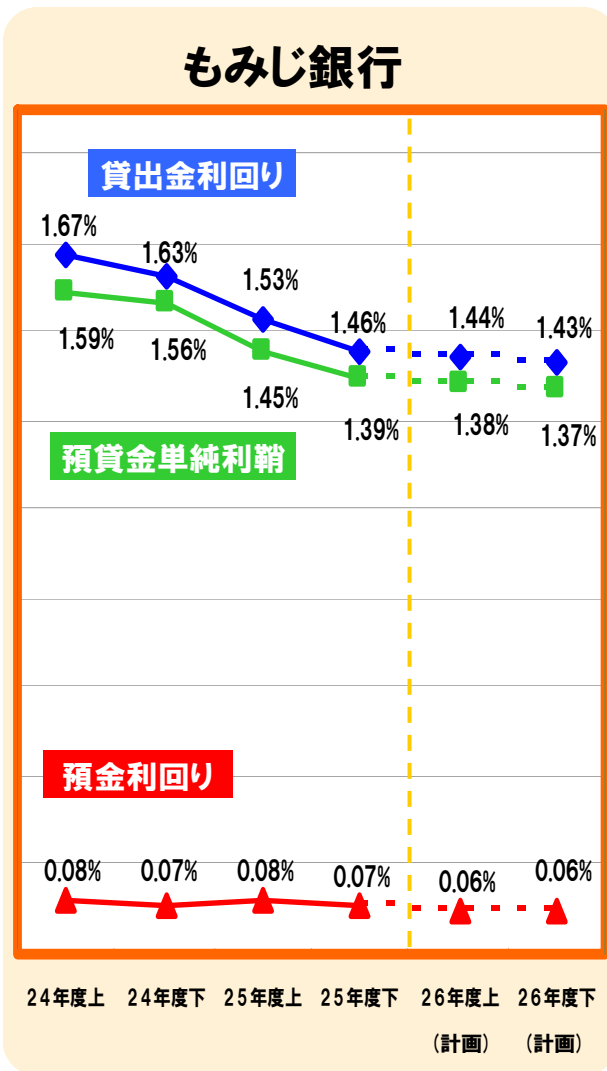
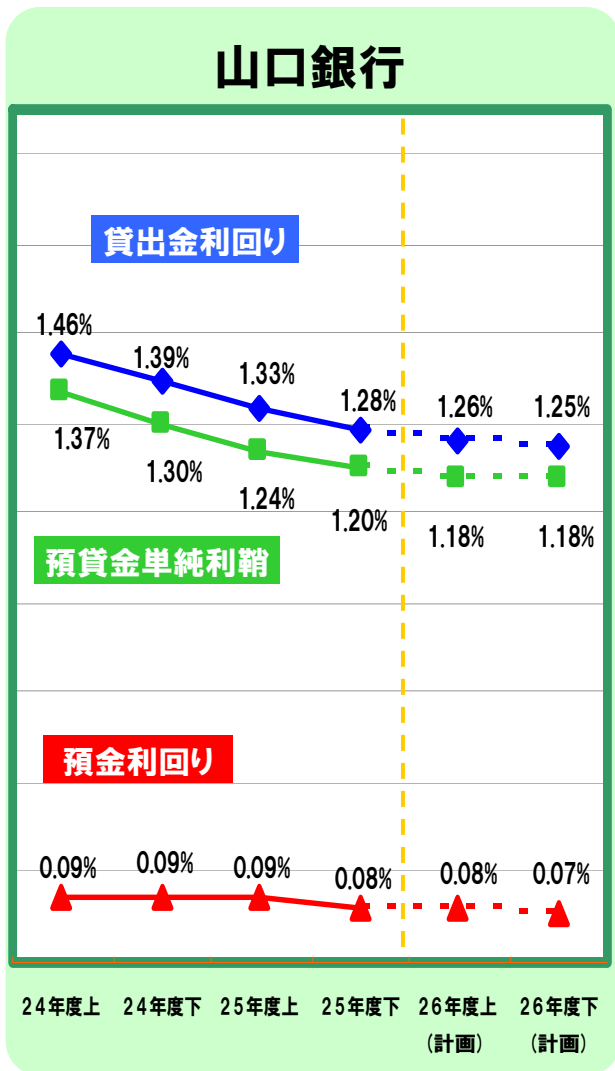
2. セグメント別(3行合算)



※記載計数は国内店勘定です。

期中平均利回りの推移

- ◆市場金利の低下が継続しており、依然として貸出金利回りは下方推移。
- ◆設備資金取込等貸出金利回り維持向上を図るとともに、高利回り定期預金の満期到来による預金利回り低下を見込む。

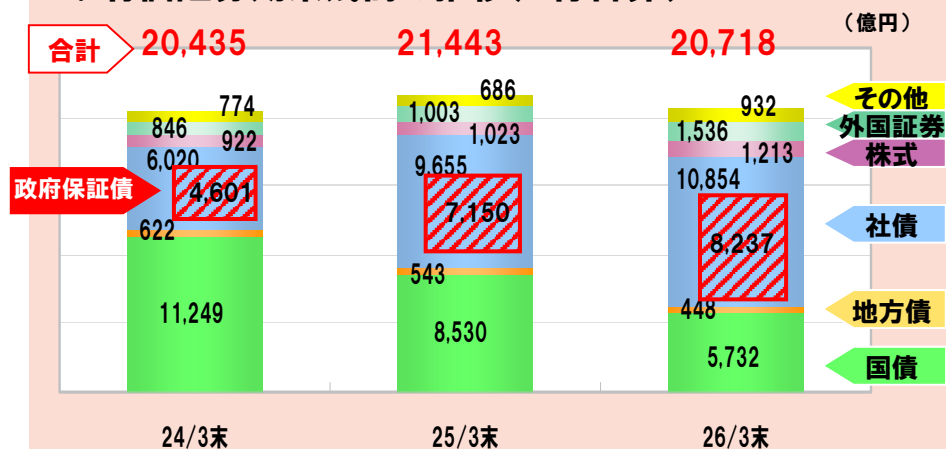


※利回り・利鞘は国内業務部門分(預金についてはNCDを含む)、半期毎の利回りを記載、単位未満を切捨表示。

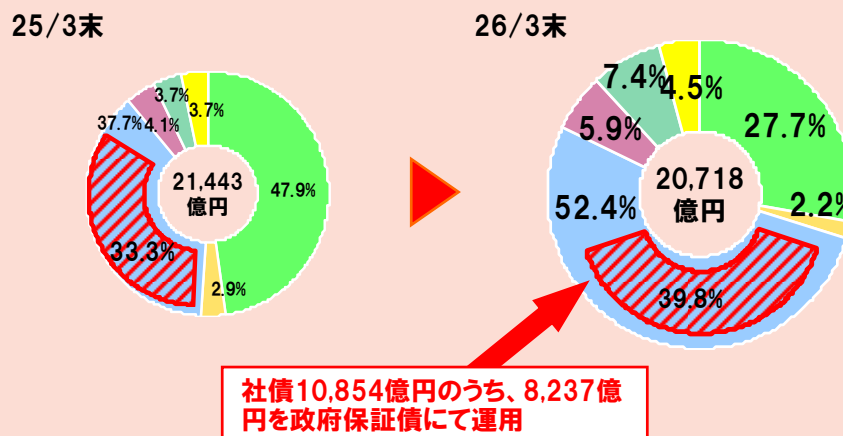
有価証券残高・評価損益の状況

- ◆今後の金利上昇に備えて**デュレーションを短期化**しつつ、政府保証債を中心に運用。
- ◆株式評価額が増加し、有価証券評価益は**551億円(前期比55億円増加)**の水準。

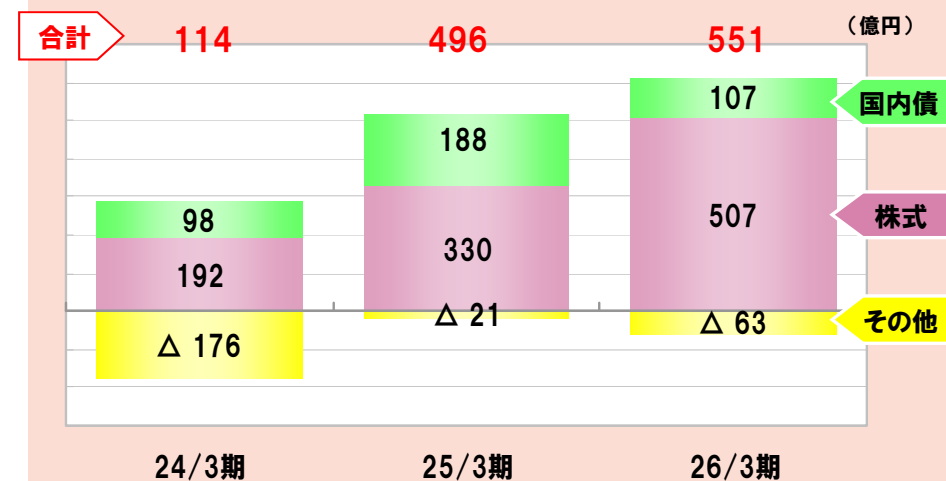
1. 有価証券期末残高の推移(3行合算)



2. 有価証券構成比(3行合算)



3. 有価証券評価損益の推移(3行合算)



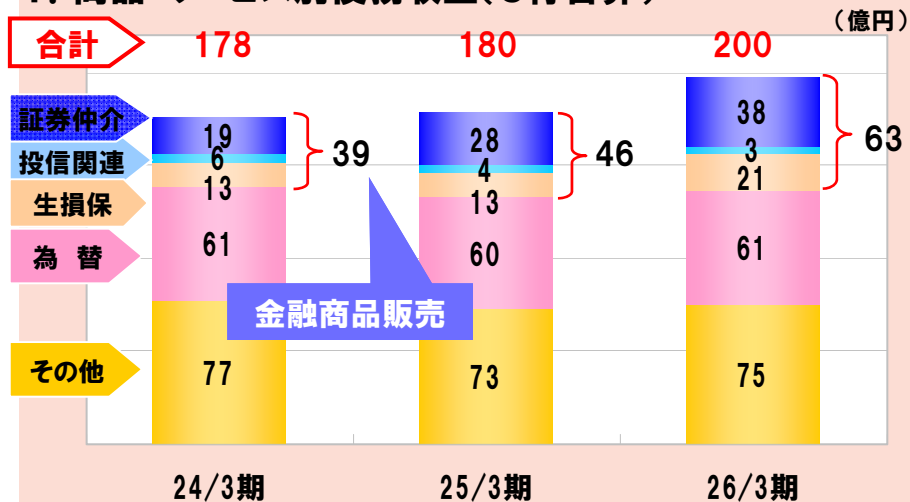
4. 保有債券のデュレーション

銀行	25/3期	26/3期	前年同期比
山口銀行	4.57	4.30	△0.27
国内債	4.03	3.75	△0.28
外国債券	-	-	-
もみじ銀行	5.06	4.44	△0.62
国内債	3.92	3.35	△0.57
外国債券	-	-	-
北九州銀行	4.83	6.60	+1.77
国内債	-	-	-
外国債券	-	-	-

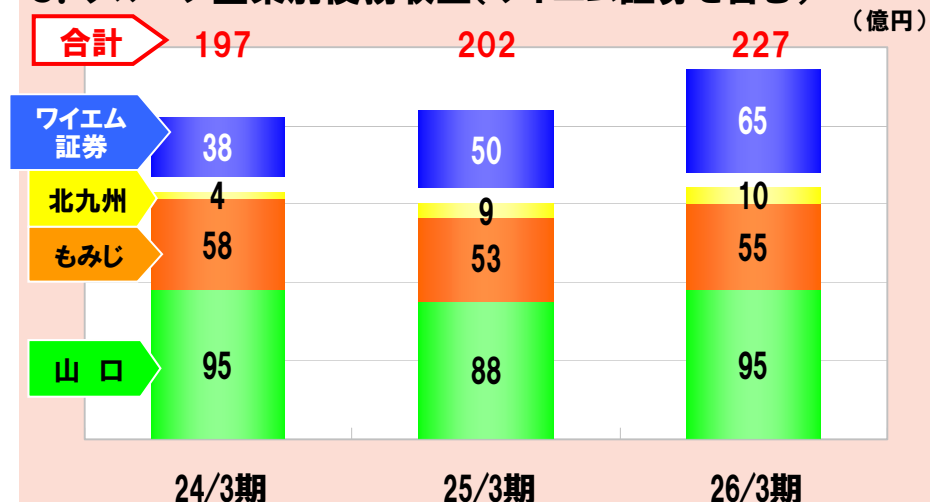
役務収益の推移

- ◆グループ会社であるワイエム証券向けの仲介手数料を中心に、金融商品販売関連の収益が増加。
- ◆銀証連携強化によりワイエム証券の役務収益が伸長し、グループ合算の役務収益は**前期比25億円増加**。

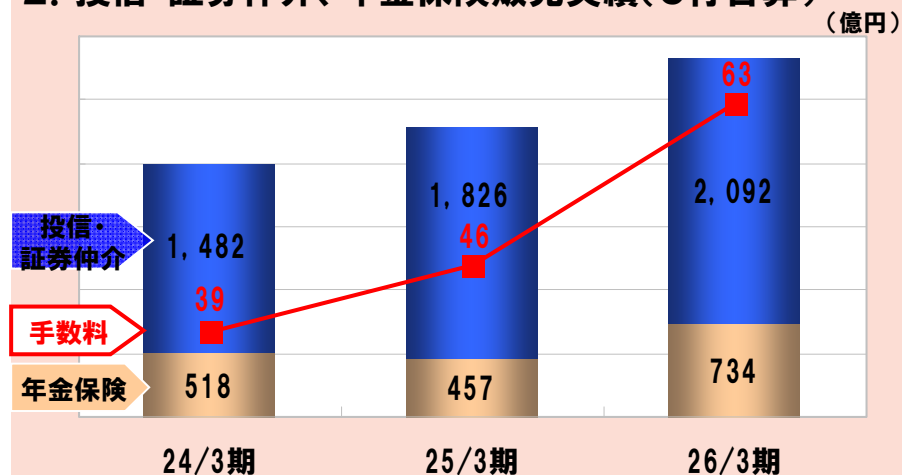
1. 商品・サービス別役務収益(3行合算)



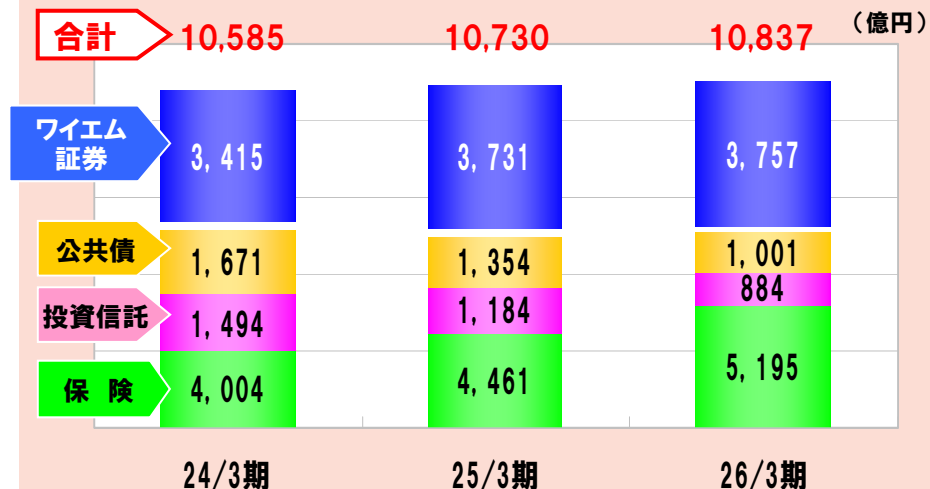
3. グループ企業別役務収益(ワイエム証券を含む)



2. 投信・証券仲介、年金保険販売実績(3行合算)



4. グループ個人預り資産推移(ワイエム証券を含む)



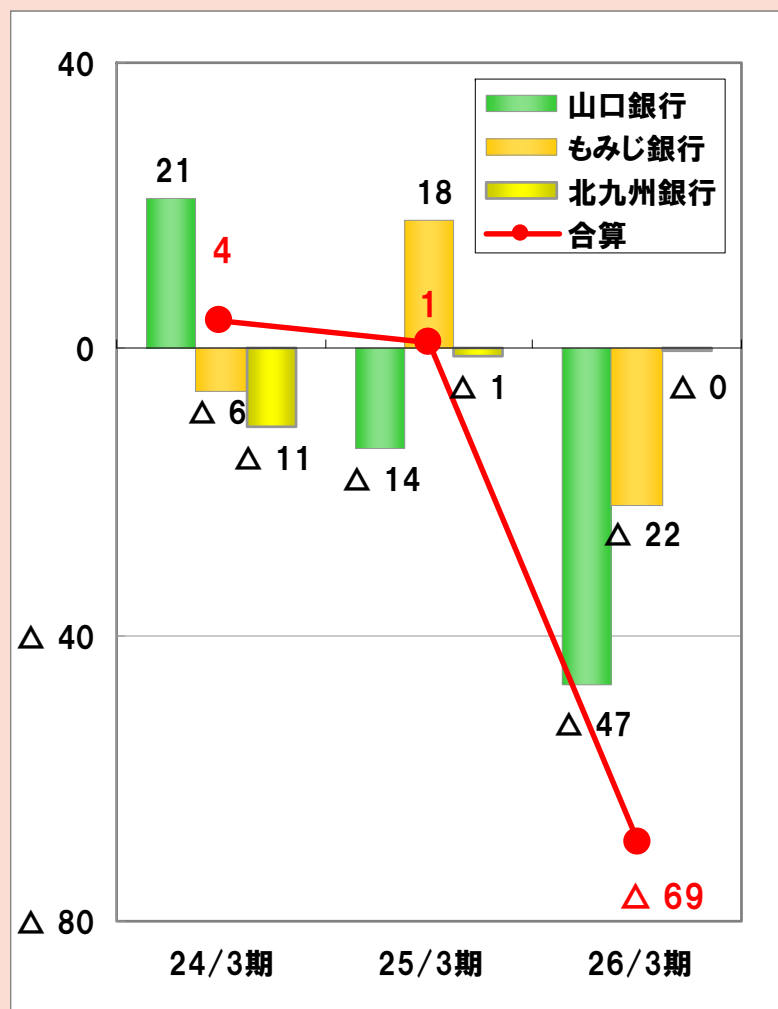
※単位未満切捨て。グループ企業別の数値については、グループ間の相殺処理実施後の数値。

信用コストと不良債権の状況

- ◆与信費用は、3行合算で前年同期比71億円減少して△69億円(利益計上)。
- ◆不良債権残高は、前年同期比165億円減少。不良債権比率も前年同期比△0.37%と大幅に改善。

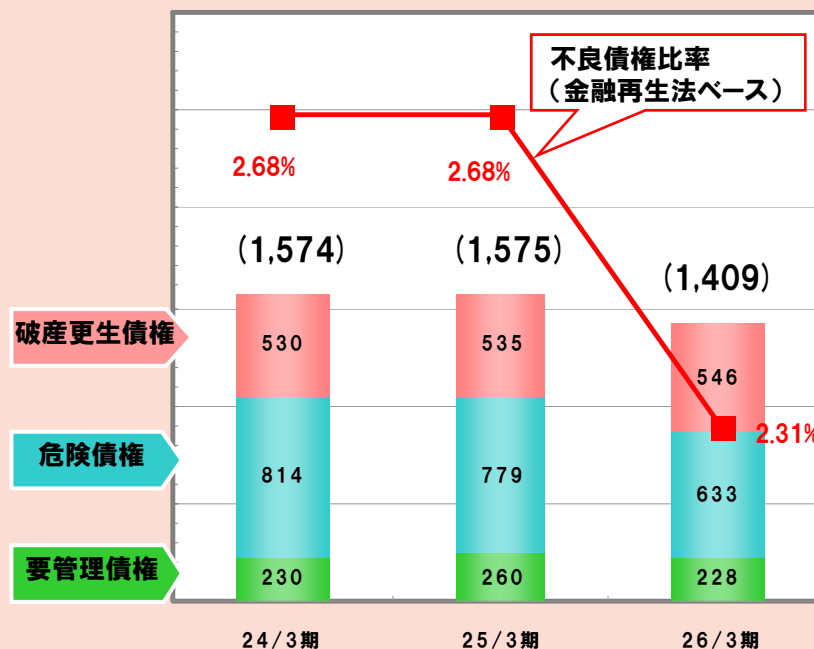
1. 与信費用(3行合算)

(億円)



2. 不良債権残高と不良債権比率(3行合算)

(億円)



[業種別開示債権](3行合算)

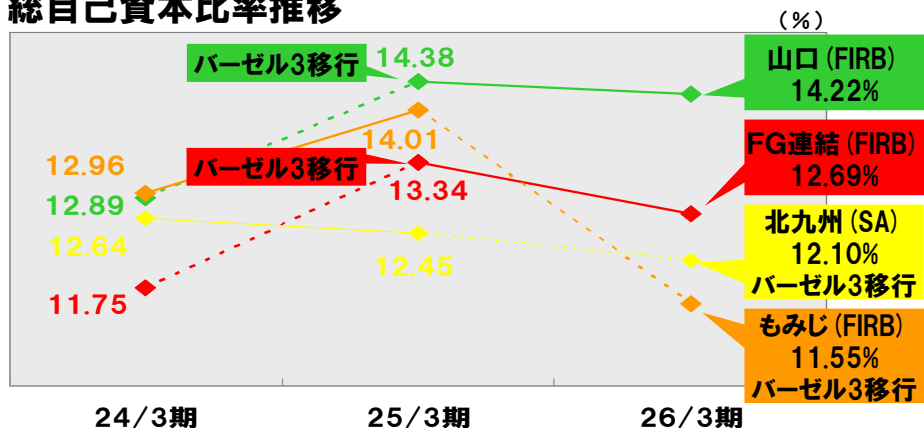
(億円)

	25/3期	26/3期	増減
開示債権合計	1,575	1,409	△ 165
製造業	249	224	△ 24
建設業	208	191	△ 17
卸売・小売業	275	234	△ 40
不動産業・物品賃貸業	188	147	△ 40
各種サービス業	318	308	△ 9
その他	335	301	△ 33

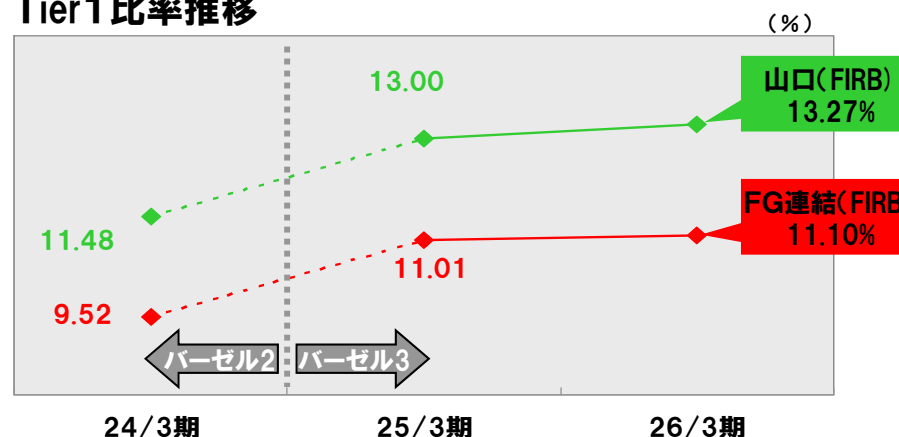
自己資本比率の状況と資本政策

- ◆山口FGの自己資本比率は、グループ各行バーゼル3移行後も**12%台後半を維持**。
- ◆平成25年12月に、外貨建貸出金需要の高まりに対応するため**300百万米ドルのユーロ米ドル建てCBを発行**。

総自己資本比率推移



Tier1 比率推移



※山口フィナンシャルグループ及び山口銀行は平成25年3月期より国際統一基準(バーゼル3)により算出しております。もみじ銀行及び北九州銀行は平成26年3月期より国内基準(バーゼル3)により算出しております。
 ※山口フィナンシャルグループ、山口銀行及びもみじ銀行は信用リスク・アセットの算出において、基礎的内部格付手法を採用しております。北九州銀行は標準的手法により算出しております。
 ※自己資本の構成に関する開示事項については当社ホームページ上に記載しております。

資本政策(ユーロ米ドル建てCBの発行及び自己株式取得)

ユーロ米ドル建てCBの発行 (平成25年12月)

- ◆発行額 300百万米ドル
- ◆年限 5年
- ◆クーポン 0%(ゼロコスト)
- ◆発行の狙い

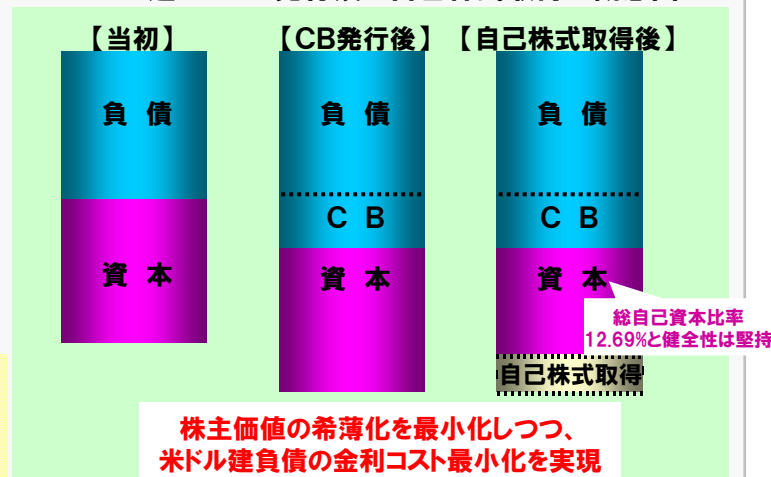
アジアに強みを持つ金融グループとして、法人取引先の海外事業の拡大などを背景とした**外貨建貸出金需要の高まりに対応**するため、転換制限条項及び取得条項(額面現金決済型)の付与により株主価値の希薄化を最小限に抑えた、米ドル建てベースでの**金利コスト最小化**を狙った資金調達

自己株式の取得 (平成25年12月)

- ◆取得株数 9百万株
- ◆取得の狙い

資本効率の向上を通じて**潜在的な希薄化の影響を最小化**

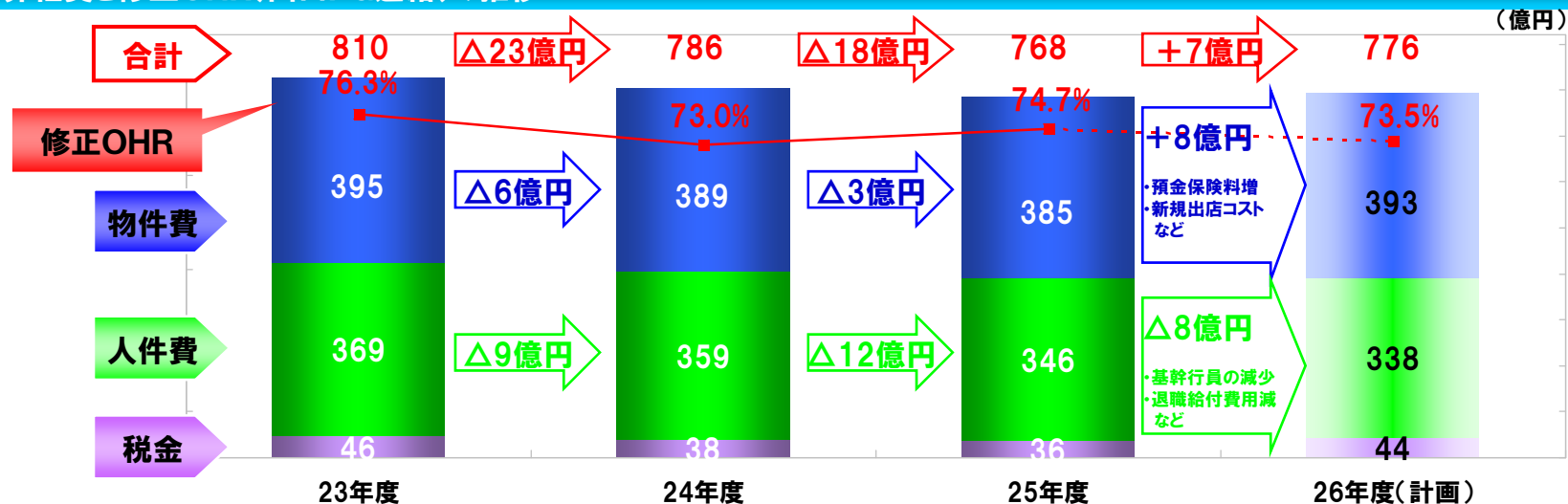
ユーロ米ドル建てCBの発行及び自己株式取得の概念図



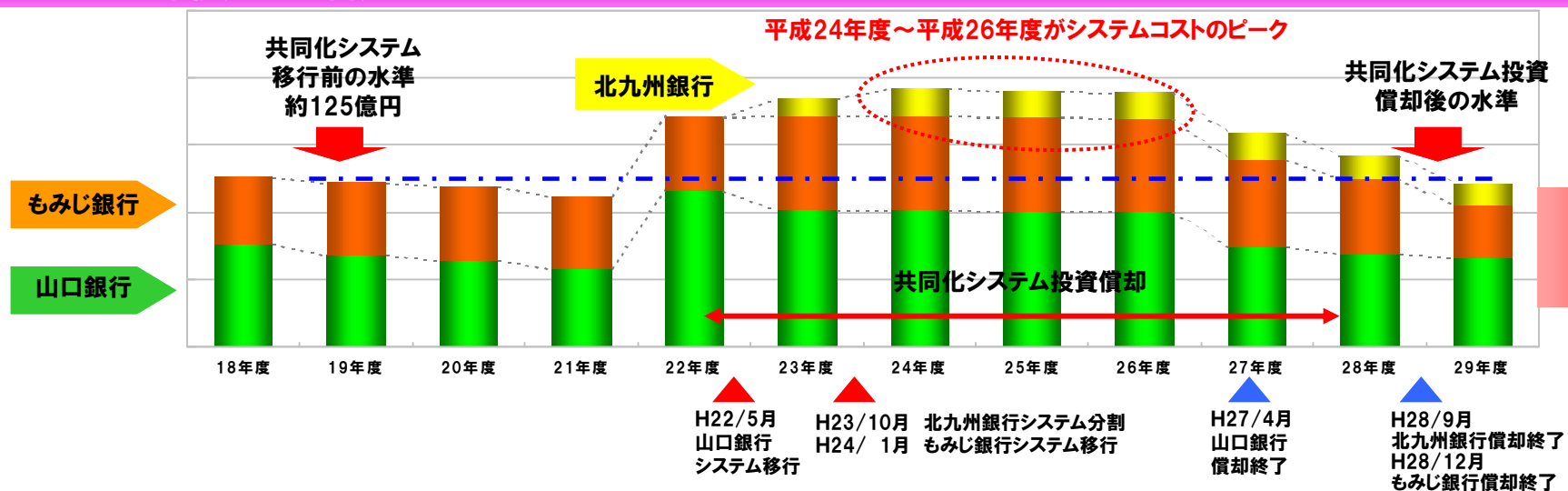
経費の推移と見通し

- ◆平成22年度より増加していたシステム経費のピークは平成26年度が最終年度。
- ◆平成27年度以降は、システム・事務共通化の効果を最大限に活用するステージへ進む。

3行合算経費と修正OHR(山口FG連結)の推移



システムコストの推移(イメージ図)



平成27年3月期の業績予想

- ◆平成27年3月期は、与信関係費用の戻入益(利益計上)や有価証券関係損益が減少し、減収減益を予想。
- ◆引続き、資金収支の改善、役務取引等利益の増加などに努め、コア業務純益は平成26年3月比増加を見込む。

1.山口FG連結業績予想

(単位:億円)	YMFG連結	
	通期予想	26/3比
経常収益	1,470	△ 140
コア業務粗利益	1,170	32
コア業務純益	310	23
経常利益	415	△ 83
当期利益	240	△ 72
ROE	4.5%	△ 1.5%
BIS比率	12.5%	△ 0.19%

2.3行合算業績予想

(単位:億円)	3行合算	
	通期予想	26/3比
経常収益	1,410	△ 116
コア業務粗利益	1,107	33
資金収支	944	△ 4
役務収支	143	19
経費	776	7
人件費	338	△ 8
物件費	393	8
コア業務純益	330	25
経常利益	440	△ 60
当期利益	282	△ 48
与信費用	△ 3	66

3.各行単体業績予想

(単位:億円)	山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行	
	通期予想	26/3比	通期予想	26/3比	通期予想	26/3比
経常収益	780	△ 57	495	△ 66	135	6
コア業務粗利益	624	46	370	△ 15	112	3
資金収支	521	16	322	△ 24	100	3
役務収支	88	11	46	8	9	0
経費(△)	381	0	301	3	94	4
人件費(△)	158	△ 8	137	△ 1	42	0
物件費(△)	201	4	147	1	45	2
コア業務純益	243	45	69	△ 18	17	△ 1
経常利益	295	△ 11	125	△ 48	20	△ 0
当期利益	190	0	80	△ 49	12	0
与信費用	△ 1	45	△ 5	17	3	3

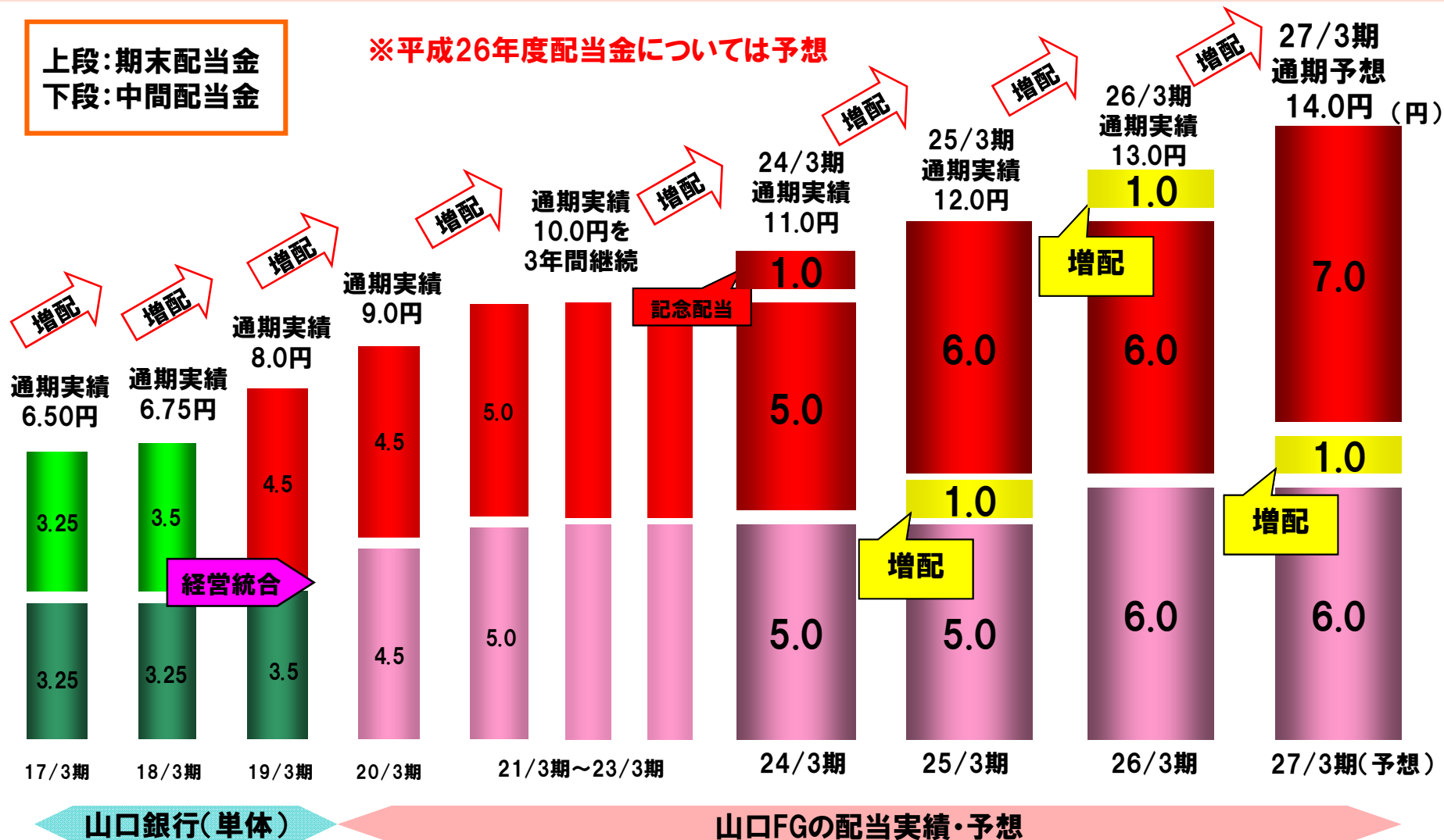
※記載金額は、単位未満を切捨て表示

配当実績・計画

- ◆平成26年3月期通期では、**3年連続して増配**となる年間13.0円の配当実績。
- ◆平成27年3月期は、**4年連続して増配**となる年間14.0円の配当を予想。

上段: 期末配当金
下段: 中間配当金

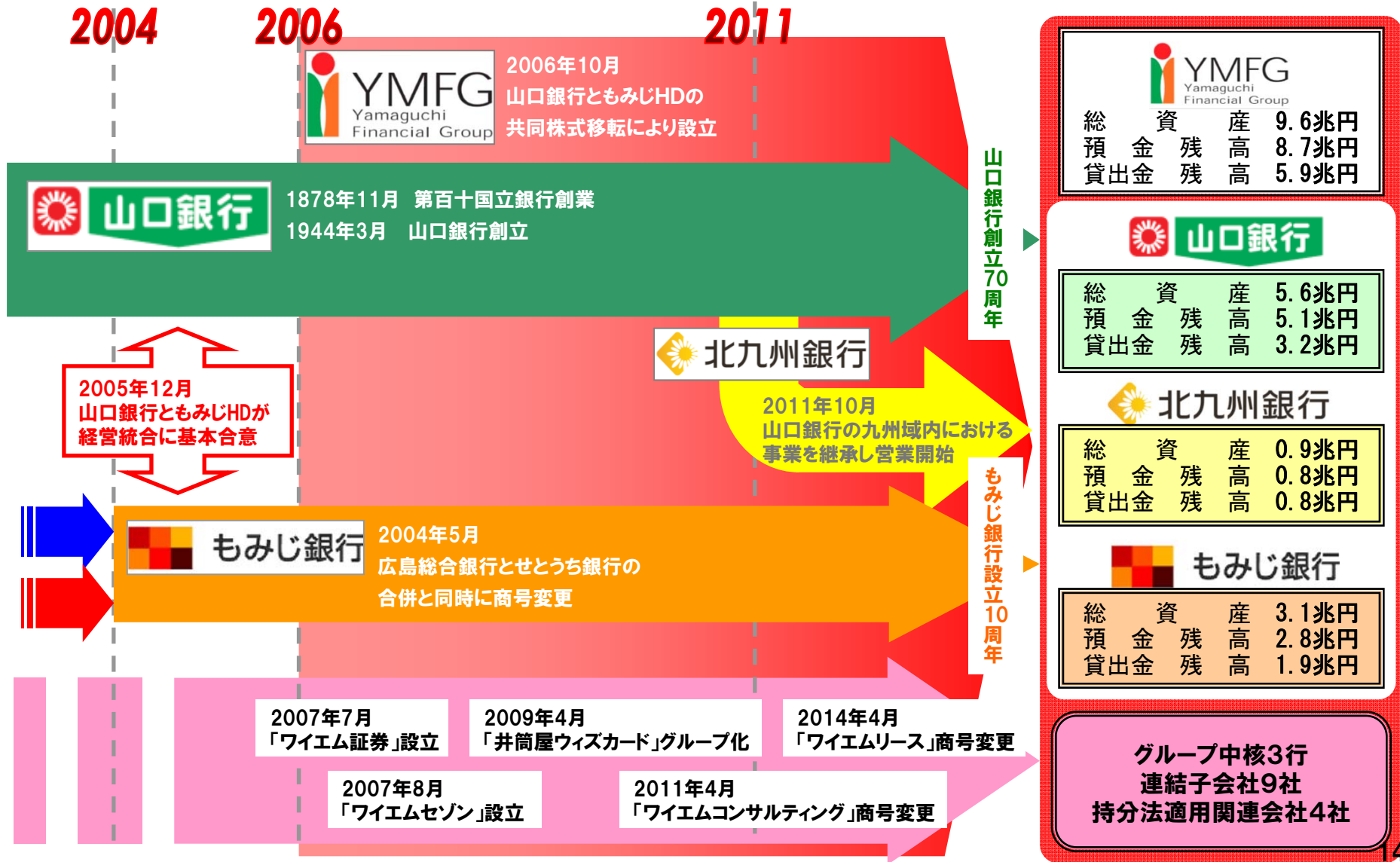
※平成26年度配当金については予想



2.グループ戦略

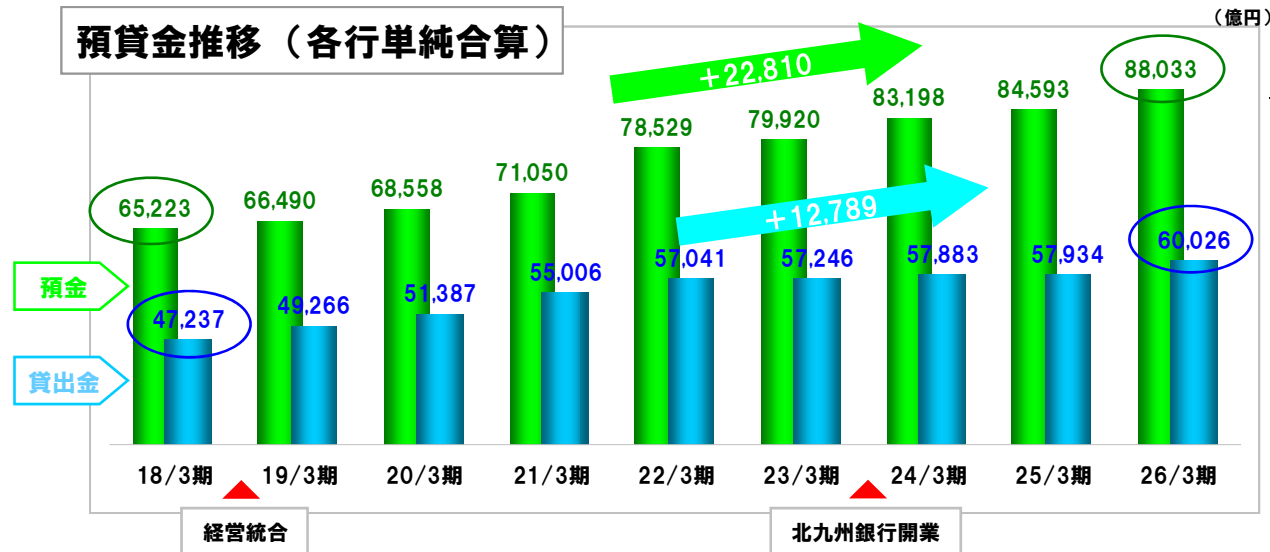
YMFGの歩み ①沿革

『健全なる積極進取』の経営方針の下、地方銀行同士の広域統合を他行に先駆け、実現。
広域金融グループとして更なる発展を目指す。



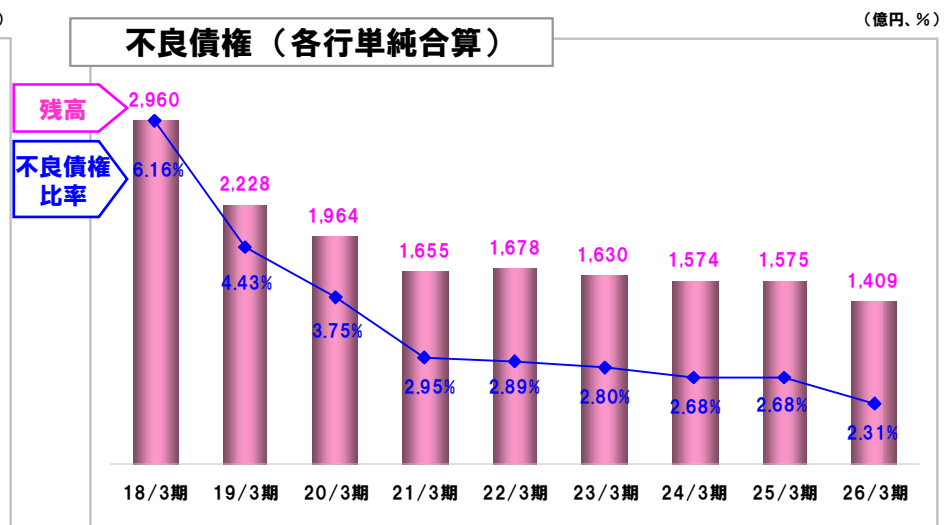
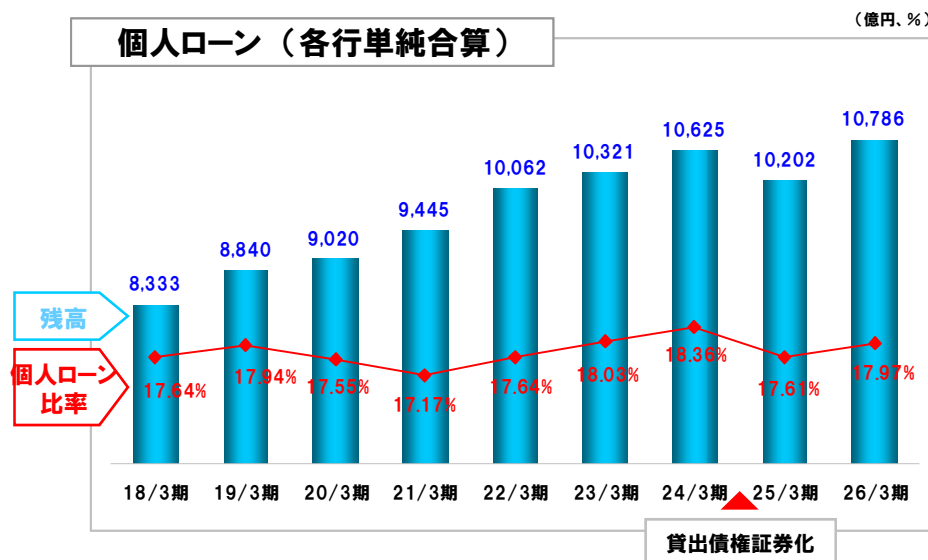
YMFGの歩み ②営業基盤の拡大

『中四国地方で最大かつ最高の金融グループ』を掲げた平成18年10月の経営統合以降、良質な資産を積上げ健全性を高めながら、営業基盤を拡大。



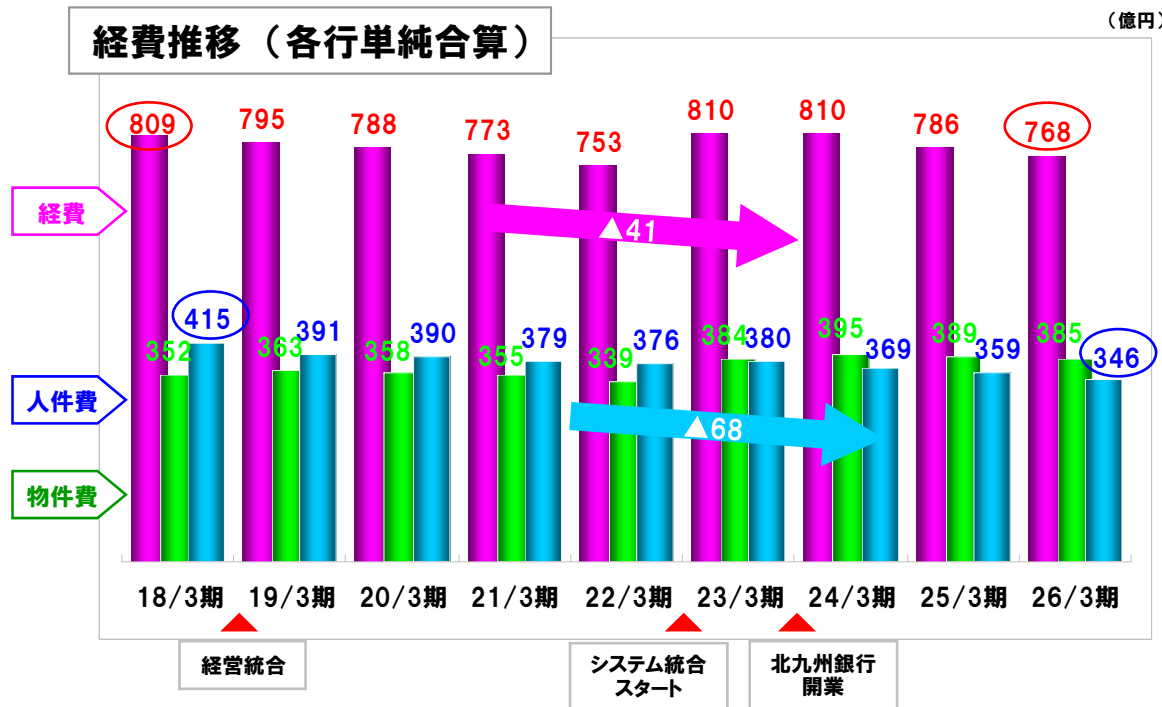
預貸金は経営統合以降、飛躍的に伸長

- 3行3ブランド体制による地域密着化
- 山口銀行の信用力、海外ネットワークの活用
- もみじ銀行のリテールマーケットでの強み
- 北九州銀行開業による北部九州マーケット浸透



YMFGの歩み ③グループ経営基盤の強化

経営統合、システム統合、新銀行開業などの積極的な投資に伴う負担の一方、規模の利益により経費総額は抑制。今後も統合メリットを追求しながら、「攻めのグループ経営」を進める。



■ 総人員数

・総人員を抑制しつつ、新規出店など戦略部門へ投入

	18/3期	26/3期
3行合算	6,064	5,087
山口	3,405	2,597
もみじ	2,659	1,933
北九州	-	557
うち		
本部人員	1,146	937
本部比率	18.9%	18.4%

※パート・派遣社員等を含む。

※比較可能とするため、子会社から銀行本体へ移管した業務に係る人員は除く。

■ 国内店舗数

	18/3期	23/10月	26/3期
3行合算	283	279	282
山口	153	138	133
もみじ	130	118	117
北九州	-	23	32

承継 (23/10月 vs 26/3期)

システム統合効果例

- 共同化システムの有効活用～システム開発等の大幅効率化
- グループ3行共通の商品・サービスにかかるシステム開発等の効率化
- もみじ銀行データセンターの山口銀行への統合
- グループ3行の通信ネットワークの共通化
- ATMのシングルベンダー化～保守効率向上、関連開発等の効率化
- 共同化システムの投資償却は平成27年度以降大幅減少見込

グループネットワークを活かして、地域を超えて広域な商圈を一つに繋げることによって地域活性化に更に注力し、地域とともに、成長していくことを目指す。

目指すべき姿

地域を育み、ともに成長する金融グループ～Road to「YMFG ZONE」～

Zone of Over-regional Network Economy（地域を超えて各地域が密接に連携することで成長する経済圏）

基本目標

「一つのYMFG」への変革による地域との共栄

3つのブランド銀行を持つ金融グループとして、それぞれの地域に深く関わっていくとともに、地域同士を連携させ、地域を育ていく、グループ一体となった「一つのYMFG」へと変革し、グループ総合力の発揮により、地域活性化とYMFGの成長を図っていく。

重点施策

1. 「一つのYMFG」への変革

(1)一つになって「地域」へ

- ①情報ビジネスへの意識転換
- ②地域と深く関わる体制の強化

(2)一つの「YMFG」として

- ①「YMFG」への意識転換
- ②「YMFG」による統制機能の強化

2. 地域とYMFGの共栄

(1)地域の活力を創造する

- ①グループネットワークを活かした連携による地域活性化
- ②アジアの成長の取込

(2)YMFGのファンを増やす

- ①お客さまから頼られるコンサルティング機能の発揮
- ②感動を創造するCSの提供

3. 「一つのYMFG」を支える経営基盤の強化

- ◆ 経常利益・当期利益は山口FG連結、グループ各行単体とも堅調に推移。
- ◆ YMFGファンの増加と地域の成長により、課題であるコア業務粗利益の強化を図る。

山口フィナンシャルグループ連結

	27年度目標計数	25年度		26年度計画
		実績	前年同期比	
コア業務粗利益	1,250億円以上	1,137億円	△55億円	1,170億円
経常利益	400億円以上	498億円	+59億円	415億円
当期利益	250億円以上	312億円	+40億円	240億円
修正OHR	67%未満	74.7%	+0.90%	73.5%

グループ各行単体

		27年度目標計数	25年度		26年度計画
			実績	前年同期比	
山口	コア業務粗利益	650億円以上	577億円	△1億円	624億円
	経常利益	300億円以上	306億円	+40億円	295億円
	当期利益	200億円以上	189億円	+22億円	190億円
もみじ	コア業務粗利益	400億円以上	386億円	△54億円	370億円
	経常利益	110億円以上	173億円	+2億円	125億円
	当期利益	70億円以上	129億円	+3億円	80億円
北九州	コア業務粗利益	130億円以上	108億円	+0億円	112億円
	経常利益	30億円以上	20億円	△0億円	20億円
	当期利益	20億円以上	11億円	△0億円	12億円

- ◆各重点施策ごとに成果は上がっており、着実に「YMFG ZONE」の創造に向けて進んでいる。
- ◆『リレーション強化によるYMFGファンの増加』を掲げ、YMFGとともに成長する顧客層の拡大に向けて果敢に挑戦する。

平成25年度

【「一つのYMFG」への変革】

- ・地域と深く関わるネットワークの強化
- ・グループ一体化の推進
- ・グループ内情報の有効活用

【地域とYMFGの共栄】

- ・連携による地域活性化
- ・事業再生支援への取組
- ・アジアの成長の取込

【一つのYMFGを支える経営基盤強化】

- ・市場・国際部門のバック業務統合
- ・グループ人事一体化への着手

平成26年度(今年度)

現状認識

各重点施策ごとに、店舗網の再編、情報営業への意識転換や、地域活性化への具体的な取組成果が上がっており、中計2年度目となる今年度は、「地域とYMFGの共栄」のためYMFG顧客層の拡大に全力で取り組む。



優先課題:『リレーション強化による
YMFGファンの増加』

基本方針:変化への挑戦～Challenge to Change～

1. お客様と広くつきあうためのChange
 - ・取引層の拡大、潜在市場への参入等
2. お客様と深くつきあうためのChange
 - ・情報営業の徹底、コンサルティング強化等



YMFGファンの増加⇔地域・お客様の課題解決

平成27年度
(中計最終年度)

地域を育み、ともに成長する金融グループ
～Road to 「YMFG ZONE」～

リレーション強化によるYMFGファンの増加

25年度の実績を更に加速させるとともに、5つの重点施策を通じてリレーション強化によるYMFGファンの更なる増加を図り、地域との共栄を目指す「YMFG ZONE」への取組を進化させる。

現 状

リレーション強化によるYMFGファンの増加

地域との共栄

【26年度重点施策】

(1) 広くつきあうためのチェンジ

① 個人事業主・小規模企業等へ
新事業性ローンの提供

② ITチャネルを活用した顧客接点強化

(2) 深くつきあうためのチェンジ

③ コンサルティング力深化

④ レス化推進による時間・人員創出

⑤ グループ内の情報連携徹底

【継続的取組】

- ・地域と深く関わるネットワークの強化
- ・グループ一体化の推進
- ・地域活性化への取組み・・・

※YMFGファン:当社が想定している一定以上の取引をしていただける層



- ◆ 有人店舗ネットワークの最適化を図りつつ、各銀行がそれぞれのブランドの強みを活かせる地域に深く関わっていく。
- ◆ ITチャネルや新商品・サービス展開も含め、広く、深くお客様とつき合うチャネルネットワークを構築する。



国内有人店舗数 **282**

(平成26年3月31日現在)



★顧客利用手数料平日時間内無料 コンビニATMネットワーク

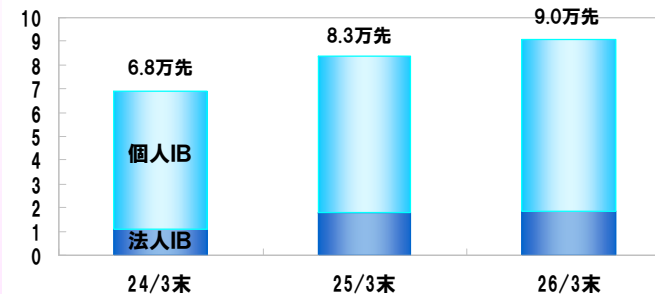
セブンイレブン(セブン銀行)
約1.9万台

ファミリーマート等(E-net)
約1.3万台
※もみじ銀行を除く

ITチャネルを活用した顧客接点強化

- EB専担者を配置し、顧客ニーズの収集・機能改善(継続取組み)
- 個人インターネットバンキングの更なる利便性向上(平成26年度)

(万先) インターネットバンキング契約件数推移(3行合算)



新商品・サービスでの新たな接点構築

- 個人事業主等向け、新事業性ローンの開発(平成26年度)
- ローン商品等の非対面ペーパーレス化スキームの導入(平成26年度)

- ◆グループ3行での一体化を進め、ノウハウ融合によるお客様の課題解決と効率化を追求。
- ◆さらに、YMFGグループでの一体化も進め、広域金融グループの強みを徹底的に追求。

YMFGグループ

専門ノウハウを結集し、グループ総合力でお客様へ

●ワイエム証券

- 平成19年7月設立以降グループ3行のお客様の資産運用ニーズにお応え
- 預り資産残高は3,757億円(26/3末)

グループ中核3行

●ワイエムコンサルティング

- 平成23年4月に旧もみじコンサルティングを商号変更し、グループのコンサルティング事業を統合、強化

グループ3行のノウハウを融合し、「一つのYMFG」としてお客様へ

■人事の一体化

- ▶人事プラットフォームの統一化(21年～)
- ▶給与ベースアップの統一実施(26年7月)
- ▶給与等の水準統一(28年度予定)
- ▶新卒採用の一括化(28年度予定)

■本部組織の一体化

- ▶国際業務部門の統合(25年5月)
- ▶市場バック部門の統合(25年5月)
- ▶データセンターの統合(26年5月)

■YMFGブランド戦略

- ▶統一キャラクター(石川佳純選手)の採用(25年3月～)
- ▶グループ社内報の発刊(25年5月)
- ▶YMFG感謝祭の展開(26年3月～)

●ワイエムリース

- (山口銀行持分法適用関連会社)
- 平成26年4月に旧山口リースを商号変更し、グループのリース事業を統合

●全グループ会社・関連会社

- 連結子会社12社
- 持分法適用関連会社4社

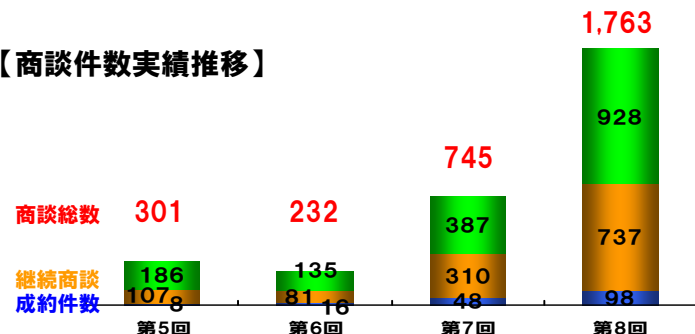
- ◆広域金融ネットワークの強みを活かし、情報と情報を結びつけ、グループ商圏の活性化に取り組む。
- ◆創業支援や、環境・医療・農業分野などの成長分野を積極的に支援。

広域金融ネットワークの活用

●合同ビジネスマッチングフェア

- ・広域金融グループのネットワークを活かして、平成18年度より開催。
- ・第8回目を迎える平成26年2月は、「農業・食品・健康」をテーマとして開催。

【商談件数実績推移】



●地公体・大学等公設機関との連携推進

- ・「創業支援」や取引先の技術相談・共同開発等の「技術支援」に取り組む。
- ・地元自治体等による地域活性化プロジェクトなどに積極的に参加。

●公益財団法人やまぎん地域企業助成基金

- ・地域経済の健全な発展を目的として、昭和59年設立。
- ・地元3県の中小企業等や、大学等で行われている研究開発に対し助成。
- ・25年度実績：19先／19百万円(中小企業14先、大学等研究開発5先)
- ・設立来実績：416先／416百万円

●平成25年度取組実績

	ビジネスマッチング (成約件数)	産官学連携 (取次件数)	創業支援 (創業支援補助金申請支援件数)
山口銀行	40	20	17
もみじ銀行	182	22	35
北九州銀行	70	15	6

ファンドによる支援

●「やまぐち夢づくり産業支援ファンド」

- ・創設日：平成25年4月5日
- ・商工業を中心に農林水産業も含めた総合的な産業力強化を図るため、山口県と共同で設立。
- ・ファンド総額：10億円(当行グループ6.7億円出資)
- ・存続期間：10年
- ・投資実績：6件／258.5百万円(平成26年4月現在)

●「(株)ひろしまイノベーション推進機構」

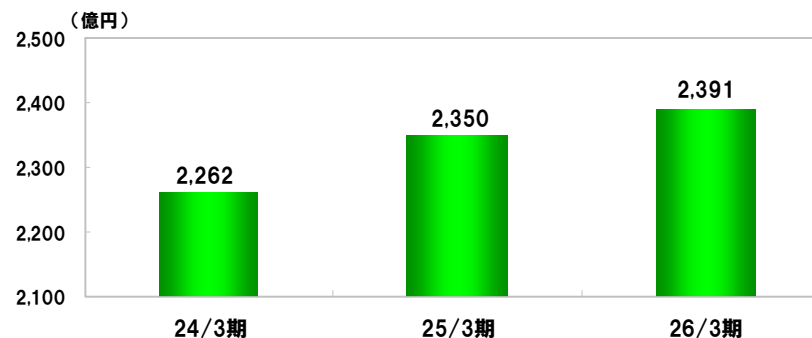
- ・広島県が中心となり、金融機関等と設立した投資ファンド。もみじ銀行も出資。
- ・平成25年5月に、もみじ銀行取引先に対し出資(1件／540百万円)。

成長分野への積極的な取組

●環境・医療・農業分野への取組

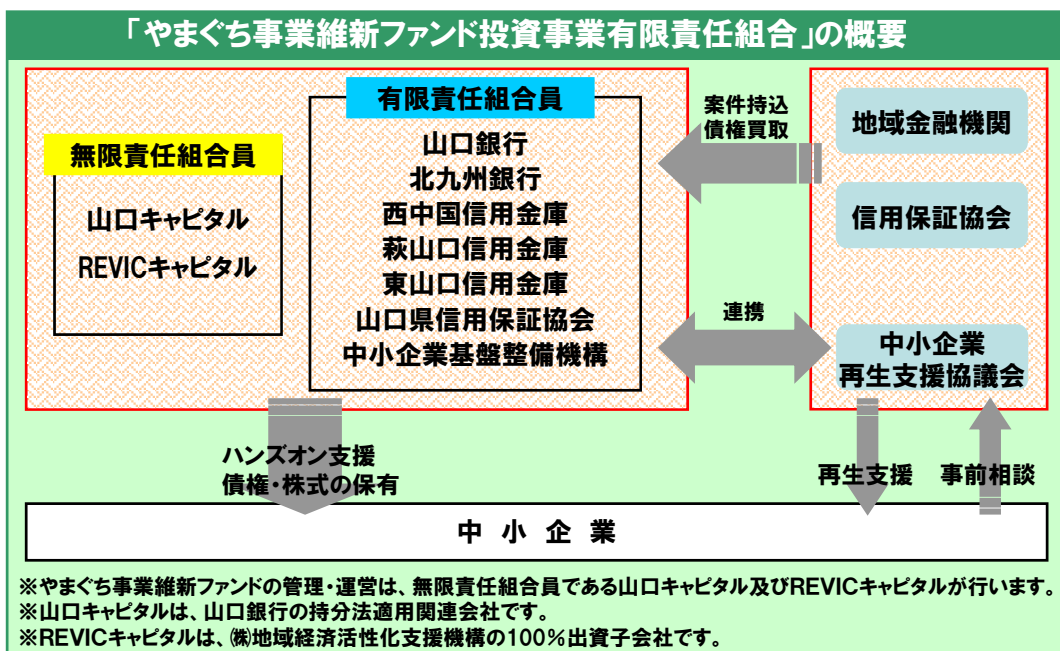
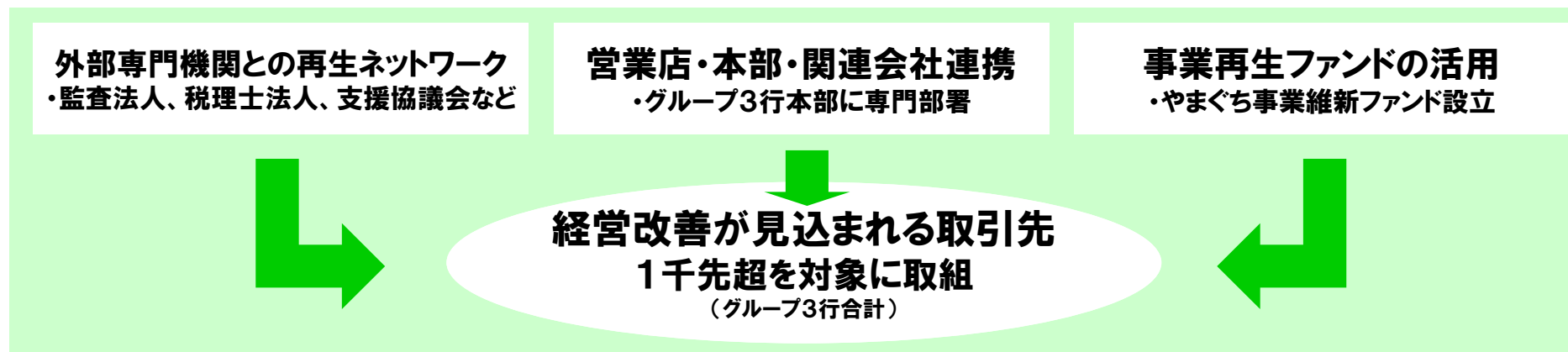
- ・成長分野に特化した専担者を配置し、ワイエムコンサルティングを含めて営業店と連携して積極的に対応。
- ・成長分野向けの資金需要に対して、ワイエム成長支援ファンドほか専用融資商品を展開。

医療・介護関連向け融資(3行合算)



※医療・介護関連向け融資：当社内の基準に基づく融資残高の推移

- ◆金融円滑化法終了後も、取引先の経営改善支援強化を図るという基本方針に基づき、取組継続。
- ◆再生支援ファンドを活用し、現状の事業を見直し新たな収益力のある事業への変革を支援。



◆「やまぐち事業維新ファンド」 (山口銀行・北九州銀行)

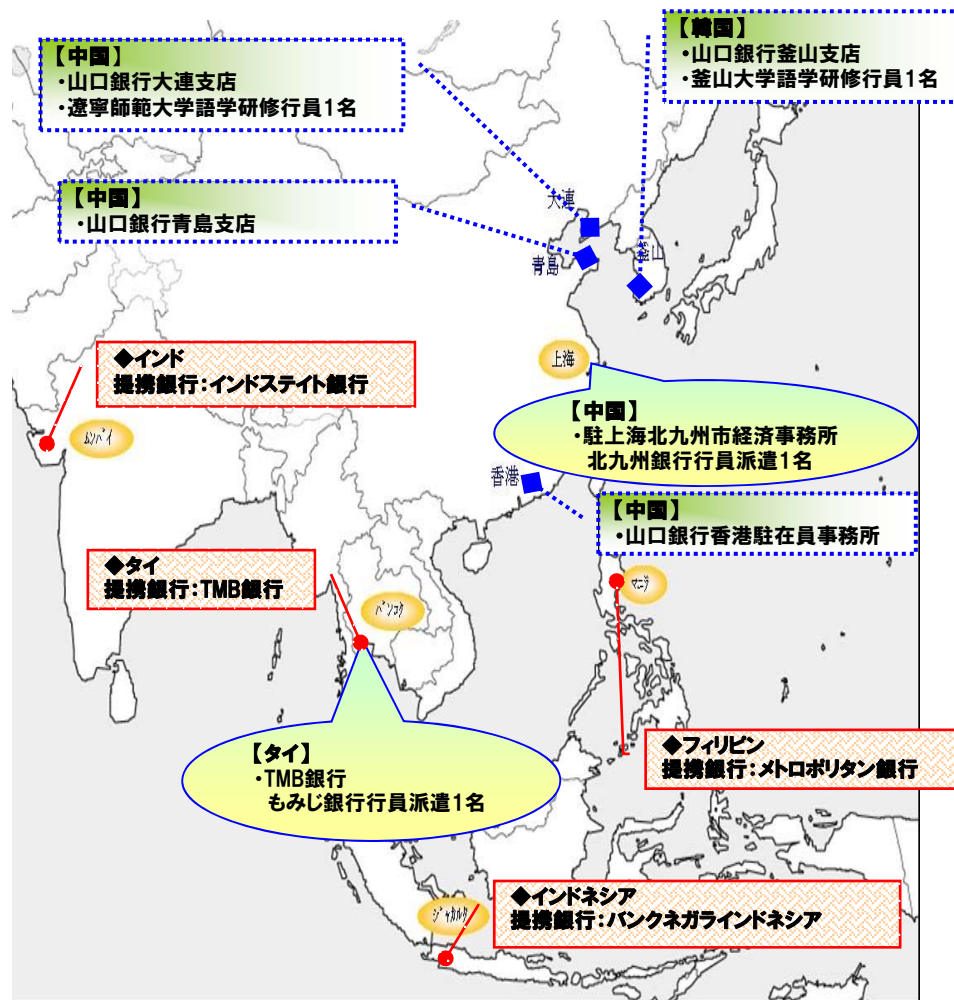
- ・創設日:平成25年9月30日
- ・ファンド総額:30億円
- ・存続期間:8年(延長の場合あり)

◆中小企業再生ファンド「せとみらいファンド」 (もみじ銀行)

- ・創設日:平成24年12月1日
- ・ファンド総額:32億円(うち5億円をもみじ銀行にて出資)
- ・存続期間:5年(延長の場合あり)

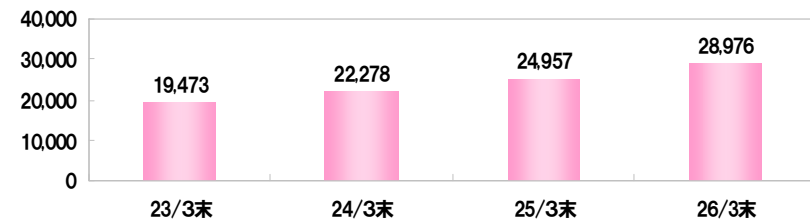
- ◆業務提携を行った金融機関などにグループ銀行の行員を積極的に派遣し、グローバルな人材を育成。
- ◆増加するアジアへの海外展開支援のため、海外支店で与信を積極的に提供。

アジアにおけるネットワーク



海外支店与信残高の拡大

海外支店与信残高(単位:百万円)



※人民元建融資取扱認可第1号の地方銀行: 山口銀行

国際交流・グローバルな人脈構築のための取組

① 海外からの留学生の受入

- ・昭和61年より下関市立大学の聴講留学生の受入を開始。
- ・青島(中国)から始まり、現在は大連・タイ・トルコと多角的に受入を実施。特に中国のOBIには現地の政府・金融機関の要職者が多く、当行の海外支援のパイプ役となっている。

【下関市立大学 聴講留学生受入実績】

(単位:人数)

	青島	大連	タイ	トルコ	合計
過年度累計	57	32	35	27	151

② 中国の小学生の受入

- ・中国の善行児童を招待し、地元小学校との交流を実施。

③ 中国金融機関職員短期研修生受入

- ・中国の金融機関職員を招待し、当社グループで短期研修を実施。

④ 中国(青島市)において継続的に山口銀行杯日本語弁論大会を開催

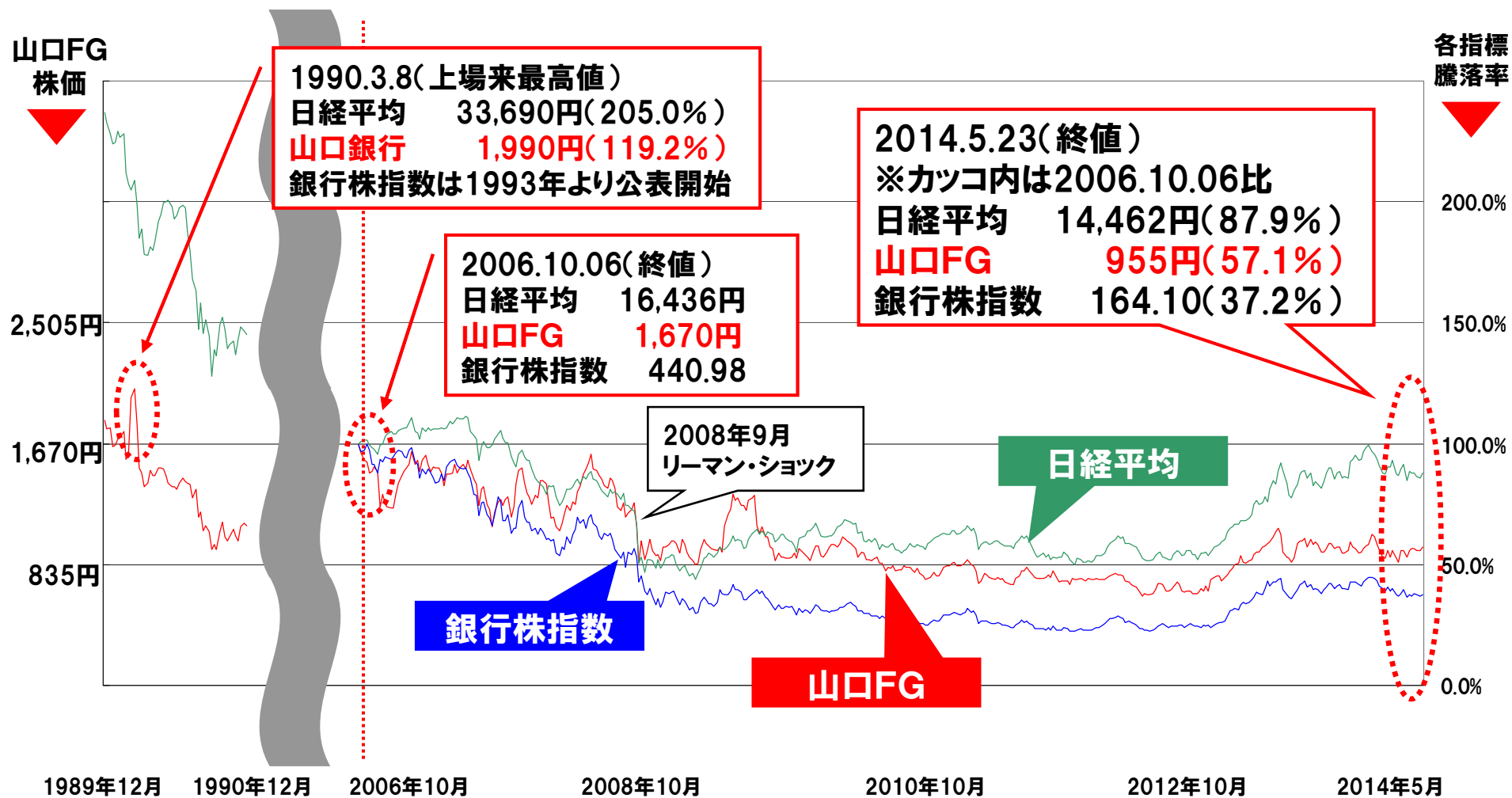
- ・優勝者を日本へ招待し、日中友好に貢献。

「平成25年度外務大臣表彰の受賞」

◇日本と諸外国との友好関係における多大な貢献が認められ、山口銀行青島支店が外務大臣表彰を受賞

株価推移

- ◆2006年10月に上場して以降、2008年頃からは銀行株指数を上回って推移。
- ◆直近の山口FG株価は**955円(山口FG上場時比57.1%)**。



▲ 山口FG上場時(2006年10月)を100とした週足推移

3.資料編

業績推移(1) FG連結・3行合算

FG連結

(億円)

	21/3期 (通期)	22/3期 (通期)	23/3期 (通期)	23/9期 (半期)	24/3期 (通期)	24/9期 (半期)	25/3期 (通期)	25/9期 (半期)	26/3期 (通期)	前年同期比
コア業務粗利益	1,227	1,199	1,181	558	1,169	622	1,185	578	1,137	△ 47
コア業務純益	385	373	299	159	277	182	319	150	286	△ 32
経常利益	195	390	357	167	363	191	438	253	498	59
当期利益	137	267	191	87	179	122	272	158	312	40
ROE	3.31%	6.19%	4.23%	3.92%	3.92%	5.18%	5.52%	6.11%	6.04%	0.52%
総資産	77,772	86,475	87,581	89,865	91,154	90,830	93,272	93,143	96,350	3,078
BIS比率	9.67%	11.13%	11.36%	11.34%	11.75%	12.90%	13.34%	12.62%	12.69%	△ 0.65%

3行合算

(億円)

	21/3期 (通期)	22/3期 (通期)	23/3期 (通期)	23/9期 (半期)	24/3期 (通期)	24/9期 (半期)	25/3期 (通期)	25/9期 (半期)	26/3期 (通期)	前年同期比
コア業務粗利益	1,200	1,152	1,149	564	1,120	599	1,128	544	1,073	△ 55
資金収支	1,058	1,029	1,051	512	1,008	478	945	477	949	3
役務収支	123	105	102	48	102	46	104	63	123	18
経費	773	753	810	387	810	402	786	385	768	△ 18
人件費	379	376	380	184	369	180	359	174	346	△ 12
物件費	355	339	384	181	395	199	389	191	385	△ 3
コア業務純益	426	398	338	176	309	196	341	158	304	△ 36
経常利益	240	418	425	184	393	200	457	250	500	42
当期利益	185	303	264	111	215	137	304	163	330	25
与信関係費用	101	31	27	40	4	9	1	△ 38	△ 69	△ 71

※記載金額の単位未満は切捨て表示

業績推移(2) 各行単体

各行単体

(億円)

		21/3期 (通期)	22/3期 (通期)	23/3期 (通期)	23/9期 (半期)	24/3期 (通期)	24/9期 (半期)	25/3期 (通期)	25/9期 (半期)	26/3期 (通期)	前年同期比
山口銀行	コア業務粗利益	744	718	733	359	665	284	579	291	577	△ 1
	資金収支	666	647	672	325	594	257	511	252	505	△ 6
	役務収支	69	68	68	33	66	29	65	39	76	11
	経費	461	444	503	235	443	204	395	192	380	△ 14
	人件費	241	237	234	109	199	89	176	84	166	△ 9
	物件費	198	187	239	113	223	103	201	97	196	△ 4
	コア業務純益	283	273	230	123	221	80	184	99	197	13
	経常利益	142	259	283	119	262	93	265	162	306	40
	当期利益	112	162	176	71	138	57	167	100	189	22
	与信関係費用	104	67	45	34	21	△ 4	△ 14	△ 25	△ 47	△ 32
もみじ銀行	コア業務粗利益	455	434	415	204	402	261	441	198	386	△ 54
	資金収支	391	382	379	187	365	171	334	176	346	11
	役務収支	53	36	33	15	33	14	32	20	38	6
	経費	312	308	307	151	322	153	301	150	298	△ 3
	人件費	137	138	146	74	149	70	141	68	138	△ 3
	物件費	156	152	144	68	150	74	144	73	145	0
	コア業務純益	142	125	108	52	79	107	139	48	88	△ 50
	経常利益	94	120	121	64	113	103	170	78	173	2
	当期利益	73	141	88	40	74	78	125	57	129	3
	与信関係費用	△ 2	△ 35	△ 18	6	△ 6	18	18	△ 14	△ 22	△ 41
北九州銀行	コア業務粗利益					53	53	108	53	108	0
	資金収支					48	49	99	48	97	△ 1
	役務収支					3	3	7	3	8	1
	経費					44	44	89	43	89	△ 0
	人件費					19	20	41	20	41	0
	物件費					21	21	43	20	43	0
	コア業務純益					8	9	18	10	19	0
	経常利益					17	3	20	8	20	△ 0
	当期利益					2	2	12	4	11	△ 0
	与信関係費用					△ 11	△ 5	△ 1	2	△ 0	1

※記載金額の単位未満は切捨て表示

貸出金推移(末残)

山口銀行

(億円)

	21/3期	22/3期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	前年同期比
国内貸出金合計	36,404	38,163	38,333	38,771	31,854	31,802	32,000	32,070	32,696	696
法人貸出金	26,953	27,184	27,031	27,782	21,859	22,050	22,024	21,973	22,461	436
大企業	9,132	9,775	9,699	10,183	9,638	9,884	10,034	10,323	10,138	103
中堅企業	1,308	1,283	1,531	1,566	989	1,022	971	904	969	△ 1
中小企業等	16,512	16,125	15,801	16,032	11,230	11,143	11,018	10,745	11,352	334
地公体	3,239	4,410	4,677	4,488	4,738	4,648	4,771	4,852	4,941	170
外郭団体	1,008	944	946	818	428	190	166	143	93	△ 73
個人ローン	5,201	5,625	5,679	5,682	4,828	4,912	5,037	5,101	5,200	162
住宅ローン	4,406	4,632	4,714	4,726	4,058	4,154	4,287	4,376	4,491	204
その他ローン	796	992	964	955	770	757	750	724	709	△ 41

もみじ銀行

(億円)

	21/3期	22/3期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	前年同期比
国内貸出金合計	18,602	18,878	18,912	18,705	18,797	17,759	18,279	18,975	19,283	1,004
法人貸出金	13,021	12,757	12,344	12,157	12,126	12,130	12,154	12,406	12,152	△ 2
大企業	2,866	2,630	2,878	2,903	2,925	3,483	3,593	3,553	3,290	△ 302
中堅企業	761	1,170	761	844	804	596	582	600	611	28
中小企業等	9,394	8,956	8,704	8,409	8,397	8,049	7,978	8,252	8,249	271
地公体	1,169	1,476	1,719	1,739	1,760	1,736	2,101	2,447	2,819	717
外郭団体	167	205	205	105	134	70	64	69	76	11
個人ローン	4,243	4,438	4,642	4,703	4,776	3,822	3,958	4,051	4,235	277
住宅ローン	3,435	3,701	3,963	4,056	4,111	3,175	3,351	3,482	3,672	320
その他ローン	807	737	678	646	665	647	606	569	562	△ 43

北九州銀行

(億円)

	21/3期	22/3期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	前年同期比
国内貸出金合計					7,231	7,503	7,654	7,748	8,046	391
法人貸出金					5,791	5,967	6,003	6,014	6,227	224
大企業					605	726	832	825	916	83
中堅企業					521	566	552	504	500	△ 52
中小企業等					4,664	4,674	4,618	4,684	4,810	192
地公体					399	400	389	388	378	△ 10
外郭団体					20	29	55	74	89	33
個人ローン					1,020	1,106	1,206	1,271	1,350	144
住宅ローン					810	878	956	1,006	1,069	112
その他ローン					210	228	249	264	281	31

*計数は国内勘定のみ。記載金額は単位未満を切捨て表示

預金推移(末残)

山口銀行

(億円)

		21/3期	22/3期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	前年同期比
預金		43,640	47,387	48,282	49,867	43,703	44,489	45,780	45,900	47,678	1,897
内容別	一般	41,008	44,276	43,939	45,515	40,028	40,338	41,543	41,833	43,301	1,758
	公金	2,064	2,306	2,454	2,762	2,752	2,532	2,505	2,706	2,701	195
	金融	566	803	1,888	1,589	922	1,619	1,731	1,360	1,675	△ 56
商品別	邦貨定期性預金	22,239	24,547	24,384	25,890	22,173	23,622	23,694	24,348	24,460	766
	邦貨流動性預金	21,093	22,527	23,504	23,568	21,248	20,648	21,849	21,327	22,719	869
	外貨預金	307	311	394	408	281	218	236	224	497	261
譲渡性預金		2,517	4,178	4,013	5,134	4,759	4,173	3,340	2,961	3,602	262

もみじ銀行

(億円)

		21/3期	22/3期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	前年同期比
預金		24,748	26,520	26,068	25,531	25,995	25,833	26,122	26,464	26,445	322
内容別	一般	24,043	25,287	25,454	24,956	25,648	25,453	25,816	26,059	26,134	317
	公金	390	731	253	246	101	266	116	278	130	14
	金融	315	501	361	328	245	112	190	125	181	△ 9
商品別	邦貨定期性預金	14,289	15,111	14,768	14,470	14,738	14,338	14,456	14,416	14,073	△ 382
	邦貨流動性預金	10,007	10,454	10,807	10,696	11,156	11,405	11,577	11,981	12,314	737
	外貨預金	451	954	492	364	99	89	88	66	56	△ 31
譲渡性預金		145	444	1,557	1,612	1,915	1,392	2,079	1,484	2,007	△ 71

北九州銀行

(億円)

		21/3期	22/3期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	前年同期比
預金						6,377	6,638	6,842	7,203	7,686	843
内容別	一般					6,271	6,380	6,759	6,915	7,535	775
	公金					46	212	28	225	53	25
	金融					59	46	55	61	97	42
商品別	邦貨定期性預金					3,379	3,704	3,971	4,263	4,360	389
	邦貨流動性預金					2,871	2,800	2,751	2,842	3,242	491
	外貨預金					126	133	119	96	82	△ 37
譲渡性預金						449	479	427	562	611	184

※計数は国内勘定のみ(もみじ銀行は非居住者円預金を含む)。記載金額は単位未満を切捨て表示

資金運用勘定・資金調達勘定推移(平残)

山口銀行

(単位:億円)

	21/3期	22/3期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	前年同期比
資産運用勘定計	45,607	49,473	52,106	53,356	50,719	48,234	48,589	50,390	51,041	2,452
貸出金	33,976	35,980	36,587	36,726	33,656	30,445	30,803	31,707	32,086	1,283
有価証券	10,062	10,417	12,317	11,908	12,371	13,416	13,591	15,077	14,864	1,273
コールローン	948	2,646	2,917	3,971	4,082	4,142	3,927	3,158	3,175	△ 752
資産調達勘定計	43,555	47,404	50,047	51,398	49,049	46,738	46,981	48,748	49,257	2,276
預金	41,784	44,183	46,104	47,097	44,506	42,158	42,944	45,170	45,668	2,724
譲渡性預金	2,142	3,627	4,181	4,701	4,838	4,808	4,168	3,327	3,209	△ 959
コールマネー	376	300	393	111	253	346	396	608	664	268

もみじ銀行

(単位:億円)

	21/3期	22/3期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	前年同期比
資産運用勘定計	24,666	26,026	26,893	26,916	27,087	27,059	27,102	27,630	28,290	1,188
貸出金	17,428	18,416	18,486	18,558	18,562	18,431	18,024	18,418	18,763	739
有価証券	6,732	6,675	7,598	7,325	7,446	6,941	7,310	8,427	8,109	799
コールローン	437	902	767	958	1,001	1,620	1,700	724	653	△ 1,047
資産調達勘定計	24,375	25,573	26,188	26,123	26,262	26,286	26,382	27,465	27,491	1,109
預金	23,662	24,765	25,333	25,096	25,049	25,281	25,325	25,907	26,032	707
譲渡性預金	298	397	590	848	1,027	828	880	1,379	1,249	369
コールマネー	18	19	7	6	9	8	9	11	12	3

北九州銀行

(単位:億円)

	21/3期	22/3期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	前年同期比
資産運用勘定計					7,208	7,319	7,500	7,841	8,208	708
貸出金					6,774	7,011	7,194	7,581	7,696	502
有価証券					155	148	148	135	137	△ 11
コールローン					251	124	123	89	75	△ 48
資産調達勘定計					6,703	6,844	7,024	7,378	7,525	501
預金					5,997	6,087	6,307	6,775	6,937	630
譲渡性預金					418	464	415	556	560	145
コールマネー					501	288	297	42	25	△ 272

※金額は単位未満を四捨五入表示。

山口銀行		21/3期	22/3期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	前年同期比
資金運用利回	①	1.852	1.564	1.356	1.356	1.302	1.177	1.164	1.103	1.090	△ 0.074
貸出金利回	ア	1.930	1.736	1.618	1.558	1.537	1.461	1.431	1.339	1.313	△ 0.118
有価証券利回		1.659	1.346	1.295	1.163	1.056	0.843	0.841	0.811	0.846	0.005
コールローン利回		1.548	0.219	0.251	0.214	0.195	0.147	0.160	0.174	0.166	0.006
資金調達利回	②	0.408	0.267	0.179	0.145	0.135	0.116	0.115	0.108	0.104	△ 0.011
預金利回		0.365	0.257	0.172	0.136	0.123	0.099	0.098	0.096	0.091	△ 0.007
譲渡性預金利回		0.650	0.319	0.169	0.140	0.141	0.146	0.147	0.116	0.111	△ 0.036
コールマネー利回		2.928	0.663	0.647	1.409	1.038	0.974	0.891	0.513	0.513	△ 0.378
経費率	③	1.059	0.938	1.005	0.914	0.904	0.872	0.841	0.786	0.772	△ 0.069
資金調達原価	(②+③) ④	1.467	1.205	1.184	1.059	1.039	0.988	0.956	0.894	0.877	△ 0.079
預金等原価	イ	1.429	1.192	1.172	1.044	1.024	0.972	0.941	0.887	0.871	△ 0.070
預金等利回	ウ	0.379	0.261	0.172	0.136	0.124	0.104	0.103	0.097	0.092	△ 0.011
経費率		1.050	0.930	1.000	0.907	0.899	0.868	0.838	0.790	0.778	△ 0.060
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.501	0.544	0.446	0.514	0.513	0.489	0.490	0.452	0.442	△ 0.048
単純預貸金利鞘	(ア-ウ)	1.551	1.475	1.446	1.422	1.413	1.357	1.328	1.242	1.221	△ 0.107
単純預証利鞘		1.280	1.085	1.123	1.027	0.932	0.739	0.738	0.714	0.754	0.016

もみじ銀行		21/3期	22/3期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	前年同期比
資金運用利回	①	1.941	1.746	1.592	1.511	1.457	1.351	1.317	1.357	1.305	△ 0.012
貸出金利回	ア	2.246	2.021	1.892	1.807	1.781	1.668	1.653	1.534	1.498	△ 0.155
有価証券利回		1.170	1.099	0.897	0.872	0.783	0.783	0.725	1.066	1.057	0.332
コールローン利回		0.429	0.130	0.135	0.146	0.144	0.124	0.120	0.115	0.115	△ 0.005
資金調達利回	②	0.358	0.282	0.186	0.128	0.113	0.087	0.084	0.085	0.082	△ 0.002
預金利回		0.319	0.259	0.174	0.124	0.108	0.081	0.078	0.078	0.076	△ 0.002
譲渡性預金利回		0.606	0.296	0.194	0.167	0.155	0.148	0.139	0.114	0.118	△ 0.021
コールマネー利回		3.690	0.895	0.658	0.903	0.849	0.395	0.297	0.225	0.260	△ 0.037
経費率	③	1.282	1.208	1.175	1.158	1.227	1.167	1.144	1.091	1.084	△ 0.060
資金調達原価	(②+③) ④	1.640	1.490	1.361	1.286	1.340	1.254	1.228	1.176	1.166	△ 0.062
預金等原価	イ	1.627	1.488	1.362	1.292	1.346	1.258	1.232	1.179	1.171	△ 0.061
預金等利回	ウ	0.322	0.260	0.175	0.125	0.110	0.083	0.080	0.080	0.078	△ 0.002
経費率		1.304	1.228	1.187	1.166	1.235	1.175	1.152	1.098	1.093	△ 0.059
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.619	0.533	0.530	0.515	0.435	0.410	0.421	0.355	0.327	△ 0.094
単純預貸金利鞘	(ア-ウ)	1.924	1.761	1.717	1.682	1.671	1.585	1.573	1.454	1.420	△ 0.153
単純預証利鞘		0.848	0.839	0.722	0.747	0.673	0.700	0.645	0.986	0.979	0.334

北九州銀行		21/3期	22/3期	23/3期	23/9期	24/3期	24/9期	25/3期	25/9期	26/3期	前年同期比
資金運用利回	①					1.483	1.479	1.455	1.372	1.309	△ 0.146
貸出金利回	ア					1.546	1.482	1.462	1.375	1.352	△ 0.110
有価証券利回						0.592	2.193	1.960	1.987	1.996	0.036
コールローン利回						0.467	0.743	0.671	0.395	0.401	△ 0.270
資金調達利回	②					0.140	0.139	0.139	0.138	0.130	△ 0.009
預金利回						0.131	0.136	0.137	0.136	0.128	△ 0.009
譲渡性預金利回						0.231	0.161	0.155	0.131	0.134	△ 0.021
コールマネー利回						0.130	0.115	0.116	0.119	0.123	0.007
経費率	③					1.339	1.289	1.280	1.177	1.192	△ 0.088
資金調達原価	(②+③) ④					1.479	1.428	1.420	1.316	1.322	△ 0.098
預金等原価	イ					1.587	1.484	1.476	1.321	1.325	△ 0.151
預金等利回	ウ					0.138	0.137	0.138	0.135	0.128	△ 0.010
経費率						△ 0.041	1.346	1.338	1.185	1.196	△ 0.142
預貸金利鞘	(ア-イ)					△ 0.041	△ 0.002	△ 0.014	0.054	0.027	△ 0.041
単純預貸金利鞘	(ア-ウ)					1.408	1.345	1.324	1.240	1.224	△ 0.100
単純預証利鞘						0.454	2.056	1.822	1.852	1.868	0.046

※単位未満を四捨五入して表示。

債務者区分の遷移状況(平成25年9月末⇒平成26年3月末)

(1)山口銀行

(億円)

			26年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
25 年 9 月 末	正常先		23,567	23,030	101	0	0	-	435	
	要注意先	その他	4,154	137	3,785	8	3	5	3	212
		要管理先	156	-	8	146	0	0	-	1
	破綻懸念先		396	-	15	0	357	8	11	4
	実質破綻先		79	-	-	-	-	72	2	3
	破綻先		61	-	-	-	-	-	59	2

ランクダウン144億円



ランクアップ161億円

(2)もみじ銀行

(億円)

			26年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
25 年 9 月 末	正常先		11,470	11,081	105	-	1	0	0	280
	要注意先	その他	3,422	114	3,227	5	13	1	1	58
		要管理先	82	-	0	81	0	-	-	0
	破綻懸念先		220	-	3	-	154	59	0	2
	実質破綻先		86	-	-	-	-	78	4	4
	破綻先		126	-	-	-	-	-	108	18

ランクダウン194億円



ランクアップ118億円

(3)北九州銀行

(億円)

			26年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
25 年 9 月 末	正常先		4,037	3,903	98	0	0	-	-	34
	要注意先	その他	2,908	95	2,738	10	4	1	0	57
		要管理先	31	-	0	13	0	-	4	11
	破綻懸念先		87	-	0	-	69	16	0	1
	実質破綻先		37	-	-	-	-	29	7	0
	破綻先		57	-	-	-	-	-	54	2

ランクダウン146億円



ランクアップ96億円

(注)

- 対象債務者は個人消費者以外。
- 前期末時点の債務者区分別与信額を当期末時点の債務者区分別に分類し、期中の与信額の増減は考慮しない。
- 「その他」は、全額回収・売却等により当期末時点において、残高がゼロになった先の与信額。

債務者区分の遷移状況(平成25年3月末⇒平成26年3月末)

(1)山口銀行

(億円)

			26年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
25 年 3 月 末	正常先	22,979	21,898	389	0	0	0	-	690	
	要注意先	その他	4,578	556	3,711	15	9	4	3	278
		要管理先	176	-	29	138	4	0	-	3
	破綻懸念先	419	-	27	3	347	13	13	15	
	実質破綻先	88	-	-	-	8	73	2	4	
破綻先	73	-	0	-	-	-	66	6		

ランクダウン457億円



ランクアップ625億円



(2)もみじ銀行

(億円)

			26年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
25 年 3 月 末	正常先	10,864	10,045	466	0	7	0	0	344	
	要注意先	その他	3,401	321	2,894	14	30	2	4	134
		要管理先	74	-	2	70	0	-	-	1
	破綻懸念先	236	0	14	-	141	69	1	9	
	実質破綻先	91	-	-	-	0	75	5	10	
破綻先	127	-	-	-	-	-	110	16		

ランクダウン602億円



ランクアップ339億円



(3)北九州銀行

(億円)

			26年3月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
25 年 3 月 末	正常先	4,369	3,635	611	8	1	-	-	112	
	要注意先	その他	2,499	207	2,146	8	14	2	5	115
		要管理先	31	4	2	8	-	-	1	15
	破綻懸念先	83	-	1	0	60	18	1	1	
	実質破綻先	40	-	-	-	-	29	10	0	
破綻先	58	-	-	-	-	-	53	5		

ランクダウン683億円



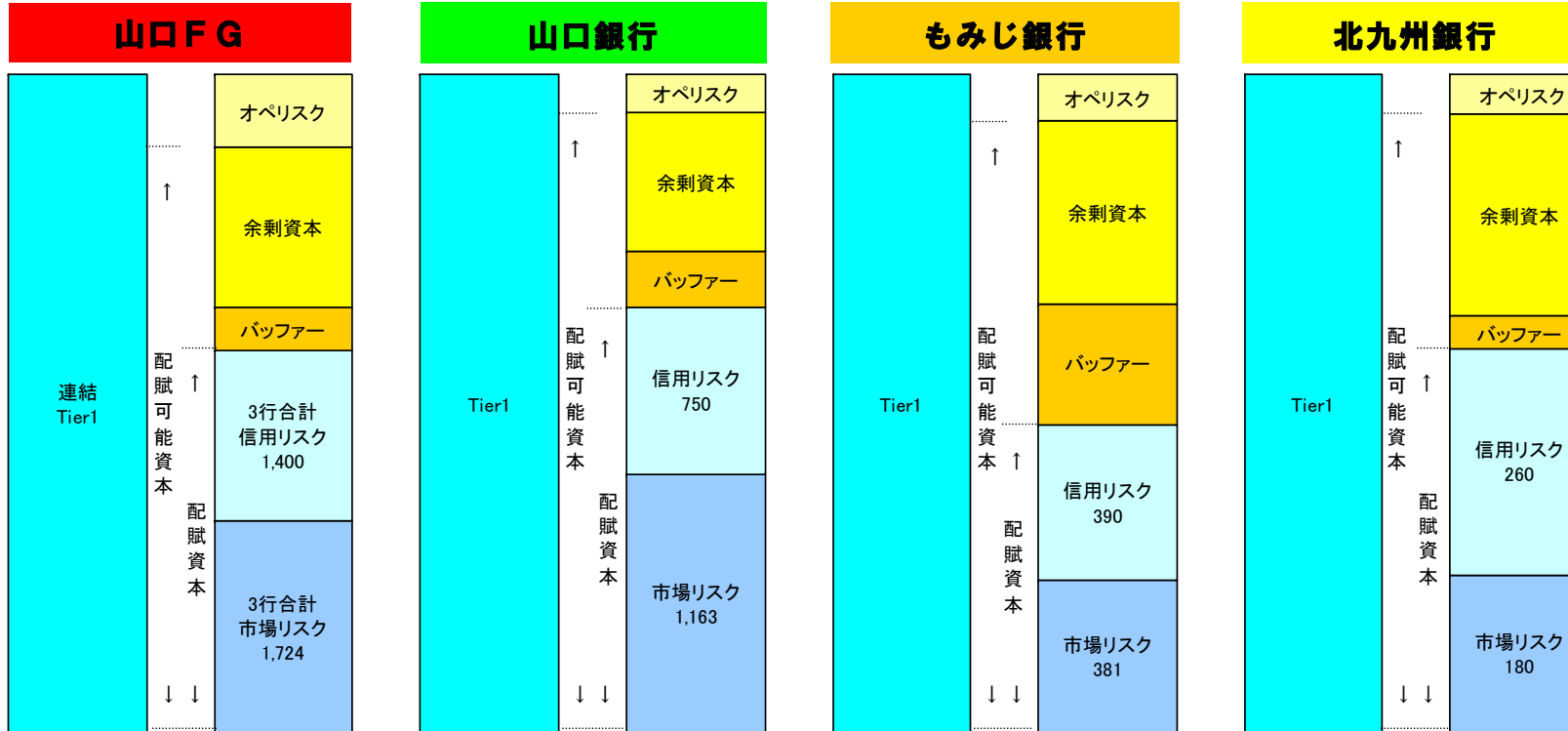
ランクアップ216億円



(注)

- 対象債務者は個人消費者以外。
- 前期末時点の債務者区分別と信額を当期末時点の債務者区分別に分類し、期中の与信額の増減は考慮しない。
- 「その他」は、全額回収・売却等により当期末時点において、残高がゼロになった先の与信額。

(単位:億円)



		山口銀行	もみじ銀行	北九州銀行	3行合計
信用リスク	リスク量('14/3末)	576	262	186	1,024
	資本配賦額	750	390	260	1,400
	使用率	76.8%	67.2%	71.5%	
市場リスク	リスク量('14/3末)	640	180	114	934
	資本配賦額	1,163	381	180	1,724
	使用率	55.0%	47.2%	63.3%	

・FG連結Tier1を配賦原資とし、計画に沿って各行へ配賦する。

・Tier1 : 普通株式等Tier1+その他Tier1
(グループ全体を統一的に管理するために、山口FG、および各銀行とも国際統一基準に基づきTier1を算出)

・バッファ : 想定以上の環境変化や計量できないリスクへの備え等

◆景気は緩やかに回復している。

生産	新型車の販売が好調なことから、自動車の稼働率が高めで推移しているほか、化学、鉄鋼等の生産も堅調に推移しており、生産活動全体では持ち直しの動きがみられる。
設備投資	平成25年度の設備投資計画額は(山口経済研究所調べ)、大手化学メーカー等の一部企業が投資額を減額し、2年連続で前年度を下回った(前年度比▲6.3%)。
輸出	輸出額は、防府港の欧州向け等の自動車、下関港の中国向け半導体等製造装置等が増加傾向で推移している一方、足元で徳山港のアジア向け有機化合物や鉄鋼等が減少する動きもみられる。
個人消費	耐久消費財を中心に消費税率引き上げ前の駆け込み需要もみられ、底堅く推移している。
公共工事	平成25年度累計の公共工事請負金額は、国、県、市町からの発注がいずれも大幅に増加し、全体でも前年度を4割近く上回って8年ぶりの高水準となっている。
住宅建築	今年1-3月期の新設住宅着工戸数は、持家、貸家が増加した一方、分譲マンションが大幅に前年を下回り、全体でも2四半期ぶりの前年比マイナスとなっており、やや弱めの動きとなっている。
雇用情勢	今年1-3月の有効求人倍率は1.04倍と5年半ぶりの高水準となり、製造業の所定外労働時間も前年を大きく上回る水準で推移するなど、全体では改善傾向となっている。
企業倒産	今年1-3月期の倒産件数、負債総額はいずれも前年を下回っており、全体で見ると小康状態となっている。

◆景気は緩やかに回復している。

生産	輸出が好調な自動車がフル操業を維持し、電気機械(スマートフォン向け部品)や鉄鋼が高操業を続けているほか、一般機械の生産も持ち直している。
設備投資	平成25年度の設備投資計画額は(日銀広島支店調べ)、製造業(前年度比+7.9%)、非製造業(同+29.1%)がいずれも前年度を上回り、全体でも同19.8%増加と3年ぶりの前年比プラスとなっている。
輸出	北米・欧州向けを中心とする自動車等の輸出が増加している。
個人消費	消費税増税前の駆け込み需要から、百貨店販売、乗用車販売、家電量販店販売が好調に推移し、全体でも堅調に推移している。
公共工事	平成25年度累計の公共工事請負金額は、前年度比2.0%増加と前年を若干上回る水準となっている。
住宅建築	今年1-3月期の着工戸数は前年比11.8%減少と6四半期ぶりに前年を下回っており、増加傾向が一服している。
雇用情勢	製造業、非製造業ともに求人が増加し、1-3月の有効求人倍率は1.17倍で2007年7-9月期以来の高水準となり、雇用人所得も緩やかに持ち直すなど、全体では改善している。
企業倒産	倒産の発生件数1件当たりの負債額は小口化しており、全体で見ると小康状態となっている。

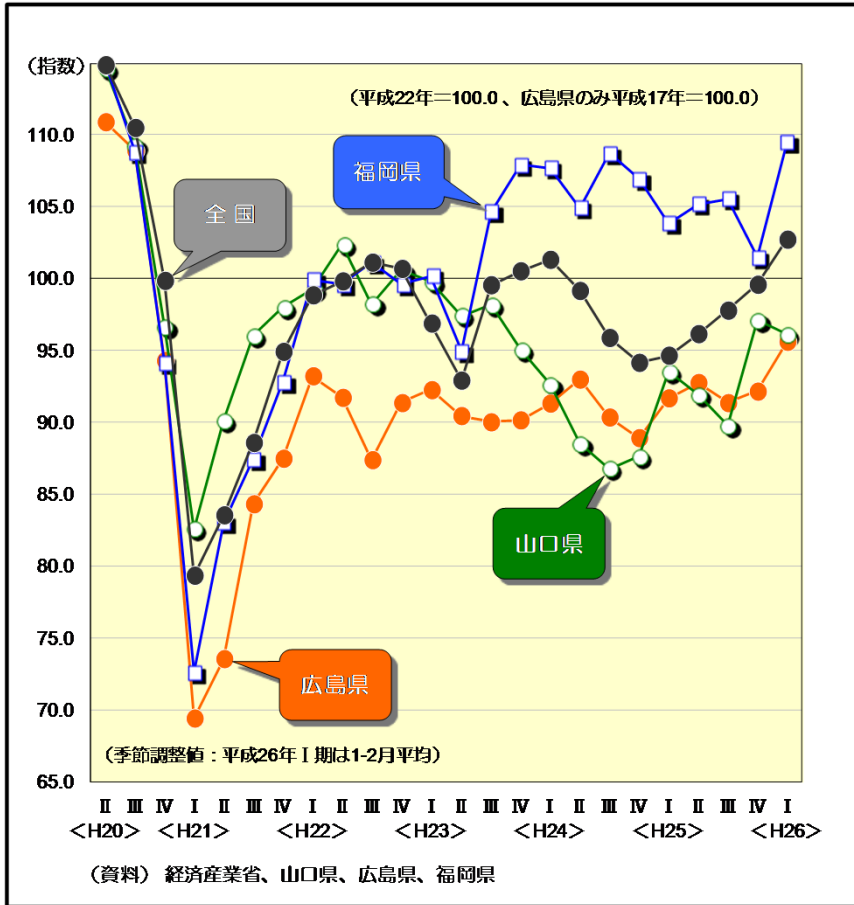
◆北九州地区の経済は、緩やかに回復しつつある。

生産	国内需要が高まっていることや、輸出が堅調に推移していることを受け、幅広い業種で上向いており、足許では自動車関連で消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動に対応した減産がみられているものの、基調としては緩やかに増加している。
設備投資	収益や先行きの需要見通しに改善がみられる中、持ち直しが明確になっている。日本銀行北九州支店管内「短観」調査では、2013年度の設備投資額は、前年度に比べ製造業が32.5%増加、非製造業が2.1%減少し、全体では17.9%の増加となる見込み。
輸出	為替円安等を背景として堅調に推移している。
個人消費	消費税率引き上げの影響による振れを伴いつつも、底堅く推移している。
公共工事	高水準で推移しており、2013年度の公共工事請負額は、前年度比で4.7%増加した。
住宅建築	高水準で推移しており、2013年度の新設住宅着工戸数は、前年度比で11.8%増加した。
雇用情勢	緩やかに改善しており、2014年3月の有効求人倍率は0.96倍となっている。
企業倒産	2013年度の企業倒産は、件数、負債総額ともに前年度を下回った。

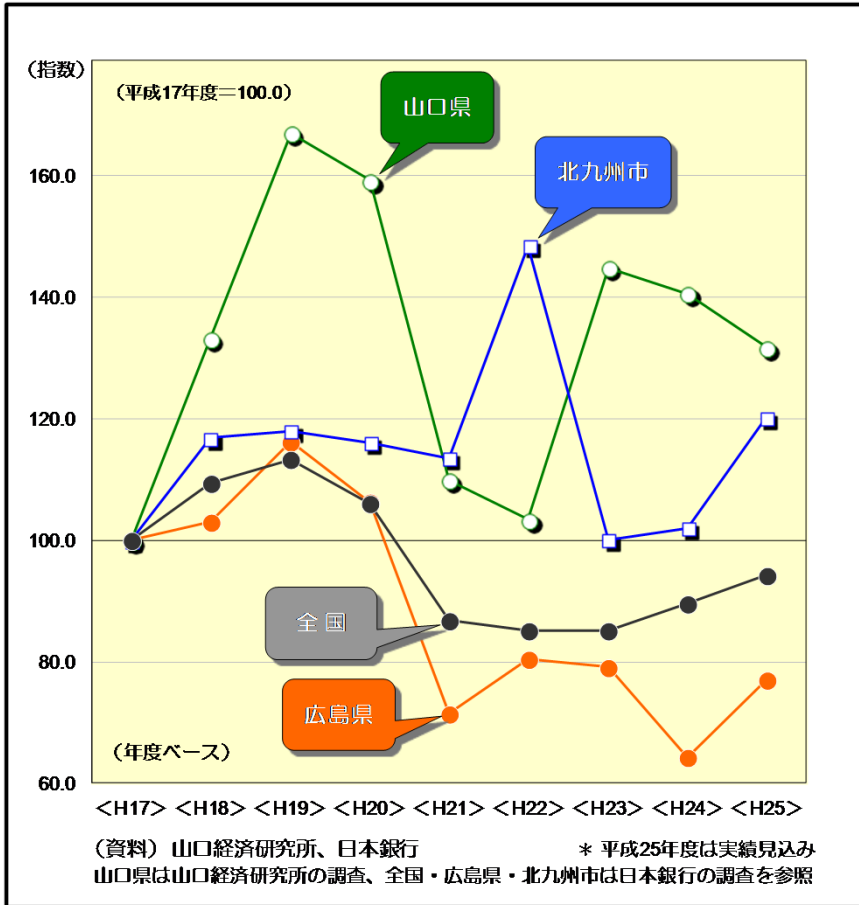
地域経済概況（鉱工業生産・設備投資）

- ◆ 鉱工業生産指数は輸出の増加等を背景に、全体の生産は持ち直しの動き。
- ◆ 設備投資計画額（平成25年度）は山口県（前年度比▲6.3%）が2年連続のマイナス、広島県（同+19.8%）は3年ぶりのプラス、北九州市（同+17.9%）は2年連続のプラスでの推移。

工鉱工業生産指数の推移

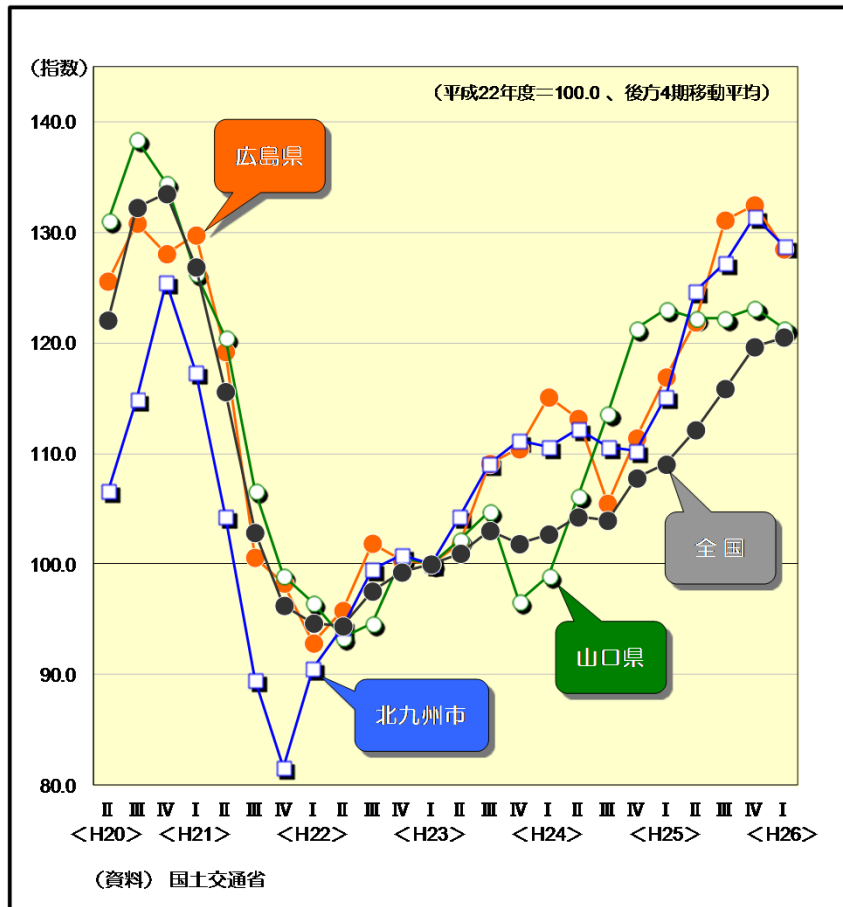


設設備投資額の推移

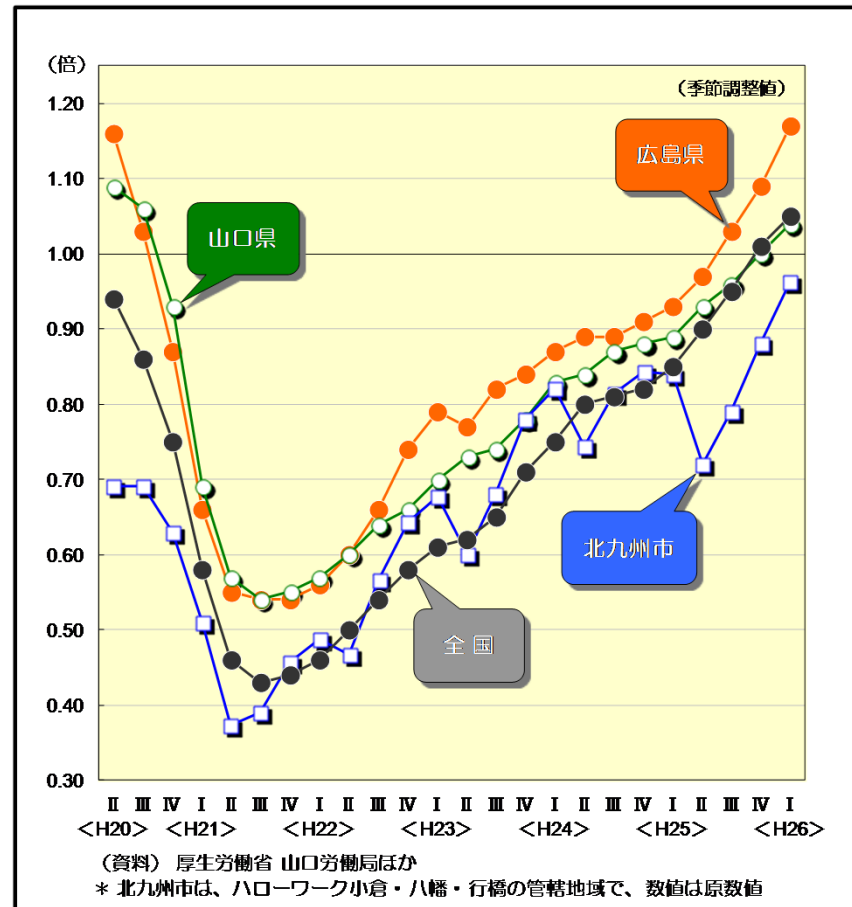


- ◆住宅着工戸数は、増加の動きに一服感。
- ◆雇用情勢は、有効求人倍率の上昇が続き、製造業の残業時間も増加するなど改善傾向。

新設住宅着工戸数の推移



有効求人倍率の推移



本資料の将来の業績に関わる記述については、その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご留意下さい。

【 本日の会社説明会に関するご照会先 】

株式会社 山口フィナンシャルグループ

総合企画部 矢 儀

カスタマーコミュニケーション部 山 西

TEL 083-223-7120

FAX 083-233-5850

<http://www.ymfg.co.jp/>